

# LION

今月の特集

**熊本地震**

7



**IN JAPAN** Official Publication of Lions Clubs International

JULY 2016 [WWW.THELION-MAG.JP](http://WWW.THELION-MAG.JP)

ライオン誌 (毎月20日発行) 第59巻第1号 2016年6月20日発行 昭和33年12月19日付第3種郵便物認可



# ライオン誌日本語版出版物

## ライオンズ新書

### ●ライオンズ新書01 『ライオンズ力を高める』 第1版第2刷

ライオンズクラブの歴史や組織からクラブ運営の全般までを、分かりやすく系統的にまとめた。1983年に刊行した『ライオンズ スピリット』の後継書。

新書判 224ページ

1部500円・送料実費



### ●ライオンズ新書02 『LCIF早分かり』 第2版第1刷

ライオンズクラブ国際財団の目的や仕組み、寄せられた献金がライオンズの人道奉仕にどのように生かされているかなど、LCIFの概要や意義をまとめた。

新書判 184ページ

1部400円・送料実費



●大口注文割引：100～499部＝1部450円／500部以上＝1部400円

●大口注文割引：100～499部＝1部350円／500部以上＝1部300円

## ライオンズスクール・シリーズ

### ●初級編『ライオンズクラブ入門』 第3版第5刷

入会したての新会員を対象に、これだけは知っておきたいライオンズクラブの基礎知識をまとめた。併せて「ライオンズ用語集」も収録。

A4判 64ページ

1部400円・送料実費



### ●上級編『リーダーシップを養う』 第1版第5刷

国際協会の総合的リーダーシップ育成プログラムを基に編集。地区役員研修会などの副読本に、またクラブ会長や地区役員の指導力育成に最適。

A4判 64ページ

1部400円・送料実費



●大口注文割引(ライオンズスクール・シリーズ)：100～499部＝1部350円／500部以上＝1部300円

■合計で2万円以上ご注文の場合、送料無料(組み合わせは問いません)。※ただし、急ぎの場合は実費請求

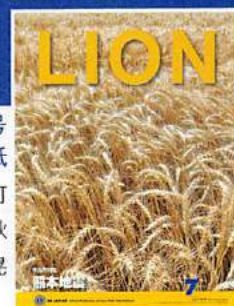
■お申し込みはEメール([office@thelion.jp](mailto:office@thelion.jp))またはファクス(03-6674-8781)をお願いします

## ライオン誌日本語版出版物 注文書

- 『ライオンズ力を高める』成り立ちから組織、運営まで分かる簡単ガイド .....  部
- 『LCIF早分かり』世界ナンバー1 NGOの簡単ガイド .....  部
- ライオンズスクール初級編『ライオンズクラブ入門』 .....  部
- ライオンズスクール上級編『リーダーシップを養う』 .....  部

地区名 <b>33</b> -	クラブ名	お名前 (クラブで注文の場合は不要)
ご住所 〒 -		お電話番号





■2016年7月号  
表紙  
香川県綾川町  
麦秋  
写真/鈴木秀晃

**We Serve CONTENTS**

- 4 **SCENE** ● 山形羽陽/岐阜県大垣城

---

- 8 **CLUB REPORT**  
8:新潟県にいがた水都/10:鳥取県境港/12:鹿児島中央/12:佐賀県鳥栖養基/13:東京馬場先門/13:33I-C地区第4期/14:京都/14:富山平成/15:宮城県東松島/15:北海道小樽グリーン/16:オーストラリア/16:パキスタン

---

- 17 3分間ライオンズ・アクティビティ編 ● LCIF人道奉仕 はしか及び麻疹イニシアチブ

---

- 18 **特集** ● 熊本地震  
「ライオンズならではの支援活動を」  
2度にわたり震度7の激しい揺れを観測した熊本地震は、熊本、大分両県に大きな被害をもたらした。一連の地震活動の中心となった熊本地方と阿蘇地方で、被災地のライオンズクラブの状況と、いち早く行動を起こし被災地で支援活動を展開したライオンズの動きを取材した。

---

- 26 2016-17年度 地区ガバナー紹介

---

- 32 国際理事だより ● 「熊本・大分地震に思う」佐藤宜之

---

- 33 LIONS NEWS CASSETTE  
33:関東・東北豪雨災害被災地にともった「希望の灯り」/34:2016-17年度各複合地区ガバナー協議会議長/34:3週間で3件のLCIF大災害援助金が交付/34:難民支援のためユースキャンプ中止を決めたスウェーデンのライオンズ/35:受益者8500万人に達した100周年記念奉仕チャレンジ/35:LCIF年次報告に見る台湾ライオンズの顕著な貢献/35:ライオンズクエストを実践する教師向け書籍発行/37:Touchstone Stories 試金石ストーリー5 「ライオンズクラブ国際財団(LCIF)」

---

- 38 会員倍増計画リポート⑩

---

- 39 LCIF FILE

---

- 40 獅子吼  
40:杉山修/41:坂田光輝/42:三ツ國全代/43:門田洋司/44:三上哲治

---

- 46 ライオンズを探せ ● 沖縄県那覇市

---

- 48 表紙の背景 ● 香川県綾川町

---

- 49 **ふるさと探訪** ● 高知県佐川町

---

- 54 READERS ROOM  
54:読者から/読者プレゼント  
55:もう一度読みたい「あの記事」 ● 「ライオンズ考」

---

- 56 EDITORS ROOM  
56:ライオン誌例会のススメ/次号予告  
57:編集室 ● 「感謝」塚田雅二

---

- 58 日本ライオンズクラブ 分布図



本誌は環境に配慮したFSC®認証紙を使用しています。



## 山形羽陽ライオンズクラブ

取材／井原一樹 写真／関根則夫

### 山形のメインストリートで盲導犬啓発運動と体験歩行を実施

5月15日、山形羽陽ライオンズクラブ（鈴木清之会長／36人）が盲導犬の啓発運動と体験歩行を行った。2001年から始まったこの活動は、年に1回実施。

16回を数える継続事業だ。以前は山形駅前で行っていたが、山形市一番の繁華街である七日町商店街に七日町ほつとなる広場がオープンしてからは、ここで実施している。近くには約40

0年前に作られた御殿塚も奇麗に整備され、屋台村もあるなど、足を伸ばす観光客も多い。盲導犬についてアピールするには絶好の場所である。

クラブがこの事業を始めたきっかけは、視覚障害を持つ方に山形県で初めて盲導犬が貸与されたことだ。当時の五十嵐幸弘会長がその視覚障害者の方と仕事で関わることもあり、盲導犬

の置かれている現状を知った。そこでクラブで何か支援が出来ないかと模索し、啓発活動と募金活動、体験歩行を実施することになった。

盲導犬という存在がある程度認知されてきた現在でさえ、山形県内の盲導犬の数は10頭に満たないという。育成にコストも時間も掛かる。また、盲導犬を受け入れる世間の理解も必要だ。

山形は他の地方都市の例に違わず車社会だ。そのため、こうした繁華街ですら歩行者が少ないのがクラブの悩みだという。だが、この日は晴天。例年よりも多くの人がほつとなる広場の前を歩いており、体験歩行を希望する人も後を絶たなかった。

クラブでは今後もこの事業を続け、少しでも盲導犬の普及に寄与したいと考えている。









## 人生の知恵が学べる「砂場」を安全・安心な保育設備としてメンテナンス

豊富な地下水に恵まれた大垣市は「水都」と呼ばれ、街には水と緑があふれている。その一つ水門川は大垣城の外堀として築かれ、揖斐川を介して大垣と、三重県の桑名宿を結ぶ運河の役割を持っていた。この地で「奥の細道」の旅を終えた松尾芭蕉も、水門川を船で下り、桑名を經由して江戸へ戻っている。

5月7日朝、水門川沿いにある丸の内保育園に大垣城ライオンズ<sup>クラブ</sup>（加納光男会長／49人）の会員たちが集まってきた。園庭の一角にある砂場の清掃と消毒作業のためだ。この事業は2006年、大垣市と墨俣町、上石津町が合併したのを記念して、市内の全保育園で砂場清掃を行ったのが始まり。以来、毎年継続的に実施している。

作業としては、固くなった砂をスコップで掘り起こし、異物を取り除きながら砂を真ん中に積み上げ、市から提供された消毒液を全体に散布する。この日は丸の内保育園の他、ゆりかご南、すもとの各保育園でも実施。保育園は女性職員が多いだけに、こうした力仕事は大変喜ばれている。カバーをして養生した砂山は、週明けに園児たちが崩しながら平らにする。それがまた、

子どもたちにとっては非常に楽しい時間となっているそうだ。「人生に必要な知恵はすべて幼稚園の砂場で学んだ」というベストセラーがある。確かに砂場は協調性や創造性など、生きる上で必要な要素を自然と学ぶことが出来る。それだけに園児たちにとって安全・安心な場として提供されることが重要で、そこにこの事業の意義がある。











333-A地区

新潟県・にいがた水都ライオンズクラブ

## 多くの人の協力を受けて ふれあいウォークを実施



5月28日、晴天が広がる中、新潟県の鳥屋野潟公園のデンカビッグスワンスタジアム前には色とりどりのゼッケンを付けた人たちが集まっていた。この日集まったのは新潟の障害者施設に通う人たち。ボランティアなども含めて約350人が、にいがた水都ライオンズクラブ（和田一紀会長／26人）の主催するふれあいウォークの開始を今か今かと待っていた。この事業は今回で18回目。クラブでは、普段なかなか外に出られない障害者の方々に楽しんでもらう機会をと、

毎年実施している。

元々、この事業は姉妹クラブである群馬県・桐生西ライオンズクラブが、自らの所属するゾーンで実施していた。そこににいがた水都ライオンズクラブが参加したのが、新潟でも実施するようになったきっかけだ。

1回目は新潟市内の無認可通所施設を選んで参

加者を募集。20施設から200

人ほどが参加した。小さな施設にはなかなか奉仕の手が行き渡

っていないことを感じていたため、そうしたところをメインに



ゲームコーナーでは皆楽しくプレー

声を掛けたという。それから18

回。鳥屋野潟公園の再開発が行

われたことからウォーキングコースを変更して実施したり、参

加者がコースを外れてしまうこ

# クラブ レポート REPORT

### ●投稿要領：

アクティビティ、例会など、クラブの活動を具体的に。700字程度。写真を添付。ライオン誌ウェブマガジンのオンライン投稿か、Eメールまたは郵送で。送付先は579号下。





新潟西おやこ劇場の皆さんがオカリナ演奏を披露してくれた

とがあったため、ゼッケンを配布するようになったりと、実情に合わせて内容を少しづつ変更してきた。

数年前からは新潟県レクリエーション協会が協力してくれている。これにより、ウォーキングの後に簡単なレクリエーションを実施し、ゲームコーナーを設置するようになった。今年も新潟西おやこ劇場の皆さんが参加。オカリナの演奏をしてくれた。ゲームだけだと参加出来る場面が少なくなってしまう車椅子の方々もこのオカリナ演奏には大満足。一緒に歌うなど、楽

しんでいた。

この事業には桐生西ライオンズクラブ、ボーイスカウト、高校生のボランティア、保育・福祉の専門学校である国際こども福祉カレッジからも生徒が多数参加してくれている。ウォーキングの付き添い、チェックポイントやゴールの受付、食事の盛り付けと配膳、ゲームコーナーの手伝いなど、さまざまな役割をこなし、このふれあいウォークを盛り上げるのに一役買っている。クラブでは秋にも障害者をサッカー観戦に招待している。これはふれあいウォークでスタジアムに興味を持った参加者が、「中に入りたい」と言ったのがきっかけ。当時、アルビレックス新潟の社長が市内のクラブ在籍していたことから連絡をとったところ、内部見学だけではなく、試合に招待してくれた。

このように多くの人の協力によってさまざまな事業が実施出来ている。クラブではメンバーが減少し、運営が大変な面もあるが、こうした事業を継続していきたいと考えている。

取材／井原一樹 撮影／関根 則夫



336-B地区

鳥取県・境港ライオンズクラブ

元氣よく息を合わせて、  
前へ前へ

5月5日のこどもの日、境港ライオンズクラブ（永見純一会長／54人）主催の第12回こどもペーロン大会が開催された。ペーロン競技とは、全長十数メートルの木造船に30人ほどが乗り込んで、船上で鳴らされる銅鑼や太鼓の音に合わせて一斉に漕ぎ出し、速さを競う、ボートレースの元祖のような競技だ。350年前の中国で海神の怒りを静めるために始まり、日本には江戸時代の初め頃に長崎へ伝わった。現在でも長崎はペーロンの本場である。その長崎から古いペーロン

を2艇購入して、この競技で地元を盛り上げようと境港ライオンズクラブのメンバー有志が立ち上がったのは1989年のこと。

「ペーロンを購入した2年前に、かつて境水道で盛んに行われていたボート大会を復活させています。ただ、水面を滑るように進むボートにはスマートさがあるけれど、見物している人からすると盛り上がりには欠ける。何かいい方法はないかと考えた末、大勢でにぎやかに漕ぎ進むペーロンに白羽の矢が立ったというわけです」

とは、有志の一人である羽川端広海。こうして境港でもペーロンの大会が始まり、2005年には境港ライオンズクラブの正式なアクティビティとして、子ど



もをメインとした大会が開かれるようになった。

何と言ってもペーロンの醍醐味は大勢の力で漕ぐということ。

船尾で大きな舵を操る舵取が1人、太鼓と銅鑼を打つ者がそれぞれ1人ずつ乗り込む他は全員が前を向いて櫂で水をかいて船を操作する。漕ぐタイミングを





一致させないと、前後の人の權にぶつかってしまったため、銅鑼や太鼓に合わせて全員の息を合わせるのがうまく前へ進むコツだ。ファインプレーなど個人が目立つことはない反面、運動が得意な子も、不得意な子も楽しく参加出来、全員で結果を分かち合えるため、チームワークを高めるにはうってつけのスポーツである。

この日の大会には、ペーロンが盛んな兵庫県の相生市からペーロン少年団の参加があったが、それ以外は市内の小中学校から希望者が集まった。チームの内訳は、いくつかの部活の混成チームや、子ども会に参加している子どもたちだ。初めてペーロンを体験する子どもも、何度か乗ったことがある子どもも同じ艇に乗り込んで、



300mの直線コースの着順を競った。

境港は「魚と鬼太郎きたろうの町」というキャッチフレーズで知られるが、三方を海に開かれた海の町、というの大きなセールスポイント。普段なかなか海に出る機会のない子どもたちにとって、沖からふるさとを眺める良い機会になったようだ。

(取材/砂山幹博 撮影/宮坂 恵津子)



337-D地区

鹿児島中央ライオンズクラブ

## 20年前、素人ばかりで始まった ザ・スウィングブラザーズ



2015年10月、ほぼ毎日19時過ぎに黒い人影が城山観光ホテルの事務棟玄関に吸い込まれていく。鹿児島中央ライオンズクラブ（松田美代子会長／50人）所属のザ・スウィングブラザーズの面々だ。25日の結成20周年記念チャリティーディナーショーのために日々猛特訓をしている。20年前、クラブのイベント演奏を自前でやろうと、24人が全くの素人という状況でスタート。平均年齢50歳で、楽器をおおの購入、音出しからドレミへと進んだ。教える先生も大変だった。

たろうと思う。最初は自然消滅すると思われていたこのスウィングブラザーズだが、音が出るようになってからは楽しくなってきたようで、今まで続いている。この20年でメンバーも入れ替わり、当時のメンバーは種々の理由で数人になったが、途中から参加した者も多い。

今回のディナーショーではポピュラーな曲を集めた第一ステージ、アンサンブルやソロ、歌のデュエット、地元演歌歌手の賛助出演など音楽のアラカルトの第二ステージ、グレン・ミラー

1・ミュージックから選曲した第三ステージで構成した。おかげさまでお客さんからは大好評。よく、「次はいつですか？」と聞かれるが、我々団員も高齢化している。いつまでラッパが吹けるのやろ気がかりだが、ディナーショーが終わった後もメンバーはいつものように練習場で新曲の楽譜に向かっている。5年後は平均年齢75歳となる我々。一人の落伍者も出さずディナーショーが開催出来ればいいなと思いつつ筆をおくことにしよう。（山口淳正）

2月20日、鳥栖養基ライオンズクラブ（大塚勝会長／71人）は、結成40周年の記念事業として、鳥栖市、鳥栖市教育委員会、鳥栖市議会の後援を得て鳥栖こども市議会を開催した。これは、小学生が日頃考えていることを一般質問の形式で質問し、市執行部が答弁するという模擬議会の企画。市内八つの小学校から各3人ずつ計24人の6年生が参加した。彼らは3回の事前研修の中で、市政や議会について学び、正副議長を選出し、各校2問の質問を決定してもらった。

337-C地区

佐賀県・鳥栖養基ライオンズクラブ

## 大人顔負けの頼もしい姿 鳥栖こども市議会開催



当日の会場は市議会本会議場。答弁者席に市長以下実際の市議会と同じメンバーが並び、厳粛な雰囲気の中、議長、質問者とも物怖じせず堂々と発言する姿が実に頼もしかった。公園、通学路、コミュニティバスやゴミ収集など、身近な問題を取り上げた質問それぞれに市各部長が真剣に答弁し、子どもたちには誇らしい体験になったと思う。

私たちが考えていた以上のものになり、地元のテレビや新聞などにも多数取り上げられる大成功であったが、これは自発的に手を上げ、集まってくれた子どもたちの積極的な姿勢によるところが大きい。後援してくれた教育委員会は共催さながら企画運営にご協力くださり、市長は自ら予定変更を提案して全ての質問に対して各部長の答弁を踏まえた統括答弁をしてくださった。それらもみな、子どもたちの熱意に引き出されたものである。

私たちにとつても、思い切つて動けば、周りも動いてくれることを実感する貴重な体験となった。（幹事／久保山且也）



## 第4号(北海道)

リッチランドの壺が登場  
オリエンテーションを開催

4月17日、ロワジールホテル函館で331-C地区第4号はオリエンテーションを実施した。ライオンズクラブの活動が一般に理解されていないことから、今回は一般市民を巻き込むことを目的に企画した。

茂尾実名誉顧問に市川仁也とのつながりを作って頂き、海を越えて若き市川を失明の危機から救ったリッチランドライオンズと東京ライオンズのエピソードである「リッチランドの壺」の話をご本人からお聞きすることが出来た。この講

演のためにご持参頂いたリッチランドの壺は、神々しく輝いて見えた。市川が最後に「人生は支える方が支えられるより幸せ」と奉仕に生きる喜びを語っていたのが印象的だった。映写はメルビン・ジョーンズとヘレン・ケラーの2本を準備。前者は間もなく100年を迎えるライオンズの原点を見直したく上映した。後者は1925年の第9回国際大会での彼女のスピーチ。この演説以来、視力奉仕がライオンズの大きな柱となったことに大変誇りを感じた。

終了後、来場者からは「ライオンズクラブについての考えが変わった」とか「すごいことやっているんですね」という声があった。今後、市民の理解を深めるよう努めて、会員増強につなげていけたらと思っている。

最後に、ライオンズがこれからも社会に尊敬される団体となり、メルビン・ジョーンズ、ヘレン・ケラーの意思を継ぎ、会員増強に努めノーベル平和賞目指して活動していくことを願っている。(第2セッション・チェアパーソン/末永玲子)

4月3日、宮城県にある楽天イーグルス蔵王球場において、蔵王ライオンズクラブ(26人)が主催する東日本大震災復興支援少年野球大会が開催され、東京馬場先門ライオンズクラブ(20人)もその事業に参加した。

当クラブが参加を決めたのは2015年11月24日のチャーター・ナイト50周年式典の中でのことだった。この時、たくさんの方の記念アクティビティの中の一つとして、少年野球大会への協賛が決定された。

オンズクラブが同クラブの35周年記念事業として開催を決定していたもの。

東京馬場先門ライオンズクラブも協賛として、事業に参加することにした。

大会には当クラブから、優勝並びに準優勝カップを寄贈することになった。また、それに加え、軟式野球公認ボールC球12ダース、軟式用ヘルメットとケース、キャッチャー用プロテクター・ヘルメット・マスクなど、多数の野球用具を送ることになった。

## 東京馬場先門ライオンズクラブ

東日本大震災復興支援  
少年野球大会を協賛

天気にも恵まれた今大会には20チームが参加し、宮城県名取市、岩沼市を中心に活動している臨空ルーキーズが優勝。川崎館山バファローズが準優勝に輝いた。

この日は蔵王ライオンズクラブの佐久間成美会長と東京馬場先門ライオンズクラブの会長である私を始め、両クラブ・メンバーが参加した。また、多数の保護者たちが球場を訪れて、一生懸命プレーする子どもたちに向けて熱い声援を送っていた。

(会長/佐藤隆造)



335-C地区

京都ライオンズクラブ

例会1500回記念文化講演会  
彬子女王殿下をお迎え



4月20日、京都ライオンズクラブ（奥村好信会長／92人）は例会1500回記念としてウエステイン郡ホテル京都に彬子女王殿下をお迎えし、文化講演会を開催した。当クラブでは文化の振興、美術・工芸の振興、伝統の継承が大切と考え、過去3回、文化講演会を開催している。今回は、次世代の青少年に生活の中でどのように伝統文化を伝えるか？文化土壌をいかに醸成し、伝統産業をどのように振興するか？を課題として実施した。

彬子女王殿下は、子どもたち

に日本文化を伝えるために、一般社団法人「心遊舎」を創設、総裁に就任され、全国各地で日本文化体験ワークショップなどを行われている。当日は、「伝統文化・生活文化を次世代に『心遊舎』の活動」というテーマで基調講演をして頂いた。基調講演の後、京都産業大学教授の吉澤健吉氏の司会でパネルディスカッションを開催。パネリストは京都産業大学教授の小林一彦氏、当クラブ会員の碧永樂善五郎、碧畑正高、碧福井藤次郎、碧守口文蔵、碧山崎章一が

務めた。それぞれの話を基に、伝統文化・生活文化を次世代にどう伝えるか、討論が行われた。伝統文化の担い手をいかに育てていくか、また、伝統文化を目利き出来る人をいかに育てるか？今後の課題であり、継続して考えていく必要がある。当日来場した多くの市民の方々も熱心に討論に耳を傾けていた。当クラブは今後も文化講演会を開催し、市民の皆様と共に日本の伝統文化の次世代への継承につき考えてまいりたい。

（広報委員長／平岡彰信）

4月7日、富山平成ライオンズクラブ（福島洋美会長／51人）は富山市内でほほえみ交流会を開いた。これはチャーター・ナイト25周年の記念行事の一環として実施した。当クラブ・メンバーに加え、全日空（ANA）の新規採用整備士と教官約180人が参加し、富山市内の8カ所の支援学校や施設と交流会を行った。

整備士たちは3日から13日まで富山市内で基礎訓練を受けており、今回は社会貢献活動として参加。ANAでは、この交流

334-D地区

富山平成ライオンズクラブ

全日空の新規採用整備士とほほえみ交流会を実施



会を通して他者への気遣いの気持ちや醸成すること、チームワークを強固にすること、児童や生徒と接することでお客さんの視点を学ぶことも目的としているという。

当日は12時30分に開会式及び開始式を実施。その後、メンバーと整備士、教官は8チームに分かれて各学校、施設にバスで出向いた。このバスは富山市が協力してくれたものだ。

各施設では、約2時間という短い時間の中であったが、おの清掃活動や、新学期に向け

での準備の手伝いなどを実施。また、ゲームなどを通じて子どもたちと交流を行った。

各学校からは整備士たちの礼儀正しく、ハキハキ、キビキビとした行動に感謝し、感銘を受けたというお礼の手紙が届くなど、子どもたちにとって整備士たちとの時間は忘れられないものになったようだ。

整備士たちも支援学校の生徒たちとの交流を通じて、有益な社会勉強になったのではないだろうか。

（例会・PR委員長／石橋忠之）



北海道・小樽グリーンライオンズクラブ

## 小樽市立松ヶ枝中学校で 薬物乱用防止を講演



3月7日、小樽グリーンライオンズクラブ（17人）は小樽市立松ヶ枝中学校で薬物乱用防止の講演を実施した。担当したのは、当クラブの今期会長である福森和千代。福森会長は昨年行われたライオンズクラブ薬物乱用防止教育認定養成講座を受講し講師資格を取得したばかり。早速の講演となった。

生徒たちはまずDVDで薬物乱用がなぜダメなのかを学習。その後は、薬物の危険性についての分かりやすい説明がなされ子どもたちは熱心に耳を傾けて

いた。

また、この薬物乱用防止教室では、禁止されていない薬でも必ず医師や薬剤師の指導によって使用しなければならぬことや、覚せい剤や麻薬はもちろんのこと、今一番問題となっている危険ドラッグなどの使用は非常に深刻であることを伝えた。

危険ドラッグによって引き起こされる事件や事故の被害は大きな問題であり、脳や身体に及ぼす影響もはかりしれない。また、一度でも使用すると依存症になり、止めたとしてもフラッ

シユバックという再燃現象が起きることなどを強く訴えた。

最後に生徒たち参加の朗読劇で勧誘の手口などを実演してもらい、知らずに手を出してしまうこともあることを体験してもらった。

薬物乱用防止教育講演は全国で精力的に行われている。そんな中、小樽市においては当クラブが初めて行った。これからも機会を捉えて薬物乱用の危険性を広く、強く訴えていきたいと思っている。

（PR委員長／土屋裕美）

4月10日、東松島ライオンズクラブ（45人）は市コミュニティセンターに内外の関係者150人を集めて結成50周年記念大会を開催した。大会には石川達雄ガバナ―、鈴木俊一前ガバナ―、岩本政郁第1副地区ガバナ―、竹下直義第2副地区ガバナ―、小池總明名誉顧問がお祝いに駆けつけ、式典を盛り上げてくださった。来賓としては、市長、市議会議長、航空自衛隊松島基地司令が出席した。また、元基地司令で会員だった、航空自衛隊杉山良行幕僚長からのビデオ

メッセージも放映され、注目を集めた。大会には姉妹クラブの山形県・東根ライオンズクラブ、日本大震災支援金を提供してくれた大阪府・藤井寺、南大阪みささぎ両クラブの代表も出席し、大会に花を添えてくれた。

大会記念アクティビティとして、当クラブでは市社協への音響機器セットなど3件の寄付を実施。総額は370万円だった。当クラブの新員第一会長は大会の中で50年の歴史を振り返り、先達の遺した功績をたたえた。東日本大震災に関しては、内外

宮城県・東松島ライオンズクラブ

## 記念事業370万円 結成50周年を祝う



からの多大なる支援に感謝すると共に、被災した市民に積極的な支援活動を展開したことを強調。今後は100周年に向けて更なる精進を誓った。

石川ガバナ―は当クラブに2年余り在籍していたことがあり、その時の体験を振り返って感謝の念と今後の更なる活躍への期待とお話くださった。記念祝宴はプレセティア内康に場所を移して実施。乾杯の後、ご来賓の方々からはそれぞれお祝いや励ましの言葉を頂いた。（記念大会実行委員長／佐々木章）



LIONS ON LOCATION

オーストラリア／アデレード ライオンズが  
障害を持ったゴルフプレイヤーへ  
介助犬を寄贈



17歳のエイダン・バリーは小さい頃からゴルフを続けてきた。彼は明らかに高いレベルでプレーが出来るようになった。彼にはゴルフのルール上のハンディキャップもあるが、彼を他のプレイヤーと違うプレイヤーたらしめているのは、もう一つのハンディキャップの存在だ。

エイダンは視力と聴覚に障害を抱えている。そして、ぜんそく様症状を呈する肺の問題もある。彼の体が医学的にどんな困難を持っているかは、生まれてからわずか2週間後には心臓を

開く手術を受ける必要があった、と言えば想像に難くないだろう。彼はその後、5回の心臓手術を受けたのだ。

彼がゴルフを始めたのは7歳の時だった。彼は南オーストラリアにある、障害者にレクリエーションとスポーツを提供する組織でプレーを始めたのだ。彼の母バーナデットが、この団体の役員を務めていた。エイダンの家族はオーストラリアで5番目に大きな都市、アデレードの郊外にあるマリオンという町に住んでいた。

感受性が豊かで頭の良い若者、ヤシールは薬物中毒の父親に強制され、学校を辞めて汚く騒音の激しい工場で働いていた。義務感で仕事へとほとぼり向かっていったある日、彼は急に学校へ行っていった日々のことを思い出し、激しい挫折感と共に号泣した。

これは「小さな手」と題された子どもたちの就労状況に関する風刺演劇のプロットだ。この演劇はイスラマバード・シティライオンズがの支援で上演された。プロデューサーはライオンズのメンバーが務め、脚本は有

LIONS ON LOCATION

パキスタン／イスラマバード・シティ ライオンズが

子どもたちの労働状況改善を  
ライオンズによる演劇を上演



名なパキスタン人脚本家が担当した。上演されたのはイスラマバードのパキスタン・ナシヨナル・カウンシル・オブ・アーツ。この90分の作品はプロの役者によって児童労働反対世界デーに上演された。

パキスタンは世界的に見て児童就労の割合が最も高い国の一つである。労働に従事させられている子どもたちは十分な教育が受けられない上、さまざまな危険がある状況にさらされている。この作品によってより多くの人に児童労働の実態や問題を

知ってもらおうのが目的だった。またこうした活動は、ライオンズクラブの知名度を上げるのにも一役買っている。この作品を観にきたのは約500人。これにはユニセフやアメリカ大使館の職員も含まれる。この作品は陰鬱で不快な内容が多く含まれている。だが、最後は明るいラストが待っている。ヤシールの父が心を入れ替え、彼を再び学校に通わせるのだ。

ヤシールのモデルとなった彼は今、ライオンズで児童就労問題に取り組んでいる。



## 3分間 ライオンズ アクティビティ編



LCIF人道奉仕  
はしか及び風疹イニシアチブ

### たった1回の注射が子どもたちの命を救う

国際財団(LCIF)は、世界保健機関(WHO)、ユニセフなどが取り組んでいた「はしかイニシアチブ」の活動に正式に参加しました。この

事業は「はしかによる死亡者ゼロ」を目標に01年にスタート、11年には10億人目の子どもに予防接種を行い、死亡者数を世界で9割減少させました。12年4月に名称を「はしか及び風疹イニシアチブ」に改称。混合ワクチン接種により、はしかに加えて風疹と先天性風疹症候群も予防出来るようになりました。

促す活動をしました。メガホンを使つて訴えたり、各家庭を回ったり、市場、バス停などで地域住民一人ひとりと話をするなどの啓発活動にも力を注ぎました。

「はしか」と聞くと、「自分も子どもの頃かかった」「予防接種をした、子どもにも受けさせた」など、比較的身近な病気だけれど特別な危険は感じていないという方が多いかもしれません。ですから全世界の感染症による死亡原因の第1位がはしかだと聞けば、驚かれるのではないでしょう。

実際にははしかはとても感染力が強く、例えば乗客100人の乗ったバスにはしか感染者が1人いた場合、他の乗客が予防接種を受けていないとしたら、90人が感染すると言われています。世界では毎日400人、年間15万人がはしかで命を落としているのです。しかしこの病気は予防接種を1回受けさえすればその効果は生涯続き、しかも注射1本の費用は1ドルにもなりません。

LCIFは13年、世界の最も貧しい国々で予防接種によるワクチン投与を進めるGAVIアライアンスとも提携。各国政府の保健省と協力し、児童が確実にはしかと風疹の予防接種を受けられるように注力しています。

LCIFはライオンズクラブ国際協会が100周年を迎える17年までに、GAVIとの予防接種プログラムに取り組むために3千万ドルを調達することを誓約しています。これが達成出来ると、英国国際開発省(DFID)及びビル&メリンダ・ゲイツ財団からマッチング資金が提供され、総額6千万ドルをつぎ込めるようになります。そして20年までに49カ国の7億人の児童が予防接種を受けられることになるのです。

例えば15年のザンビアでの活動では子どもたちに予防接種を行っただけでなく、2万枚のチラシを配布。両親がワクチンについて学び、家族で予防接種の重要性を話し合うよう

はしかイニシアチブについての更に詳しい情報は、LCIFの公式ウェブサイト ([www.lcif.org/JA/index.php](http://www.lcif.org/JA/index.php)) でご覧頂けます。

2010年、ライオンズクラブ国



際財団(LCIF)は、世界保健機関(WHO)、ユニセフなどが取り組んでいた「はしかイニシアチブ」の活動に正式に参加しました。この

事業は「はしかによる死亡者ゼロ」を目標に01年にスタート、11年には10億人目の子どもに予防接種を行い、死亡者数を世界で9割減少させました。12年4月に名称を「はしか及び風疹イニシアチブ」に改称。混合ワクチン接種により、はしかに加えて風疹と先天性風疹症候群も予防出来るようになりました。



# ライオンズならではの 支援活動を

2度にわたり震度7の激しい揺れを観測した熊本地震は、熊本、大分両県に大きな被害をもたらした。一連の地震活動の中心となった熊本地方と阿蘇地方で、被災地のライオンズクラブの状況と、いち早く行動を起こし被災地で支援活動を展開したライオンズの動きを取材した。(取材) 鈴木秀晃



## 2度の震度7の衝撃

まさか2日後に「本震」がくるなんて……。

4月16日午前1時25分頃、熊本県熊本地方を震源とする強い地震があり、益城町と西原村で震度7の激しい揺れを観測した。14日にあった震度7の揺れは、この日の地震の「前震」とされた。

南阿蘇村河陽の自宅で就寝中だった

松岡一雄（高森ライオンズクラブ）

は、その瞬間、下から突き上げるような激しい縦揺れに、身体が宙に飛ばされた。続いて長い横揺れが始まり、それと共にこれまで経験したことのないような地響きがしてきた。土砂崩れだった。

京都大学火山研究所が丘の上にあるこの地区は高野台と呼ばれ、村が開発公社を通じて売り出した住宅地

だった。南阿蘇村で不動産業を営み、

村内の宅地情勢に詳しい上田晴三

（ブーン・チェアパーソン／高森ライオンズクラブ）は「傾斜の緩やかな場所ですし、雨も降っていないのに、

これほどの土砂崩れが起こるとは考えてもいませんでした。火山灰の層が強い揺れで液状化したとしか考えられません」と話している。

松岡の自宅の2軒先まで土砂が迫り、その上の住宅は土台だけを残

して土砂に押し流された。

「上のお宅は別荘として利用され、

月に1、2回、週末を過ごしていました。14日の地震の後、家の被害を

確認に来られ、16日の本震で土砂崩れに巻き込まれてしまったんです」

松岡はご近所の不幸を悼みながら、そう話した。その松岡の自宅も足の踏み場がないほど散乱していた。ピアノがあらぬ方向に倒れており、縦揺れでいったん浮いた後、斜



4月16日の本震で南阿蘇村ではあちこちで土砂崩れが発生。立野地区で起こった大規模な土砂崩れは国道57号線のみ込み、阿蘇大橋を崩落させた





住宅5棟が土砂にのまれ5人が亡くなった南阿蘇村の高野台地区。自衛隊や警察、消防団など数百人が救助に当たり、消防団副団長の杉村輝宏も参加した

めに倒れたのだろうと推測された。300<sup>キ</sup>はあるかという新ストーブも飛ばされていた。

「隣には姪の家族が住んでいるんですが、姪は最初の縦揺れで突き上げられ、天井で顔を打って2カ所裂傷を負いました」

また住宅や道路を貫通して断層と見られる亀裂が走り、杉松岡の家の玄関ポーチやデッキは建物本体から大きくずれていた。周辺でも土砂崩れが発生しており、高野台に通じる道路が寸断され、車は使えなかった。

杉松岡は仕方なく、家族会員でもある浩子夫人と共に、歩いて丘の下にある東海大学阿蘇キャンパスへ向かった。16日の時点で東海大学の体育館には、学生と近隣住民約500人が避難していた。

携帯電話も通じず、道路も寸断されていたため、一時孤立状態に陥ったが、自衛隊らの作業で道路が復旧。体育館の壁にも亀裂が入るなどしていたことから、学生や住民たちは二次避難を開始した。松岡夫妻は、村役場の長陽庁舎に近い旅館朝陽に身を寄せた。同じクラブの杉土田裕二が経営する旅館で、松岡夫妻の他に約30人の住民が避難していた。

旅館朝陽もレストランとして営業していた本館の屋根の一部が陥没す





橋がずれた分が断層の動いた幅だと説明する杉松岡

るなど大きな被害を受けていた。が、宿泊棟の新館は無事だったことから、地震発生以来、近所の被災者を受け入れ、食事や風呂を提供していた。避難者には高齢の方が多く、村から福祉避難所に指定された。村から



## 村が寸断された

は弁当が支給されるが、高齢者に配慮したものではないので、髙土田が食材を調達し、あっさりした味付けの家庭料理を炊き出しするようにした。これらの経費は髙土田の持ち出しとなる上、地震で旅館の営業が出来ず従業員を解雇したため、避難所運営の人手が不足していた。窮状を知った37・E地区（桑崎陽彦地区ガバナリー／熊本県）が5月後半になって支援に入ったが、それまでは、奥さんと息子さんは毎日、食事の提供に追われていたという。

南阿蘇村は阿蘇カルデラの南部、阿蘇五岳と外輪山に挟まれた南郷谷にある。白水村、久木野村、長陽村の3村が合併して出来た村で、村内

中央を東から西へ流れる白川が、外輪山の切れ目となる立野地区で黒川と合流し、熊本平野へと流れている。今回の地震では、旧長陽村の黒川側で大きな被害が出た。大規模な土砂崩れにより国道57号線が寸断され阿蘇大橋が崩落した立野地区も、髙松岡が住む高野台も、複数のアパートが倒壊した東海大学の学生村があったのもこのエリアになる。

南阿蘇村には、高森ライオンズクラブ（中尾三郎会長／37人）のうち中尾会長を始め15人が自宅や事業所を構えている。クラブ事務局になっていた中尾会長の自宅は立野地区にあり、応急危険度判定で「建物が傾斜している」として危険判定を受けた。また同じ立野地区で、崩落した阿蘇大橋を挟んで中尾会長の自宅から2キロほど西寄りにある阿蘇立野病院（院



福祉避難所に指定されている旅館朝陽

長／髙上村晋一）は地震で建物に亀裂が入るなど大きな被害を受けた。そのため入院患者を他の医療機関に搬送後、しばらく休診とし、通院患者は髙上村の父が院長を務める阿蘇市寄りの上村医院（上村順一院長／阿蘇ライオンズクラブ）で受け入れながら、診療の再開を模索していた。

しかし、土砂崩れを起こした裏山の崩落が広がり、安全が確保出来なくなり、5月に入って病院の閉鎖を決めた。ただ、阿蘇立野病院は村で唯一の救急病院として地域医療の核心を担っていただけに、住民からは不安の声や存続を望む声が強く、髙上村は河陽地区にある系列の特別養護老人ホームの建物を利用して、診療を再開させることにしている。



## ライオンズの支援活動

今回の熊本地震に対しては、ライオンズでもさまざまな動きが出ています。南阿蘇村には4月25日に第1弾の支援が入った。337・D地区（鹿児島県・沖繩県）は23日に開催した年次大会で募金を行い、その浄財を炊き出し奉仕のため被災地入りしていた識名安信元地区ガバナーが中尾会長に届けた。また同じ日、鹿児島県・加世田ライオンズクラブ（鎌田哲也会長／35人）も支援物資を持って駆け付け、上田ゾーン・チェアパーソンらの案内で避難所へ搬入した。

加世田ライオンズクラブは、友好クラブである熊本県・免田ライオンズクラブ（水村敏勝会長／54人）に協力を求め、被害が大きく、ライオンズ・メンバーが活動する地域として南阿蘇を紹介された。物資搬入当日は、免田ライオンズクラブも支援物資を持って同行。南阿蘇の被災状況を確認し、更なる活動につなげてくれた。

その一つは大阪桜之宮ライオンズクラブ（松秋峰康会長／157人）からの見舞金で、同クラブは4月21、22日の両日、大阪・京橋駅前募金活動を実施。中村猛335・B地区ガバナーも応援に駆け付け、2日間で約200万円の浄財が集まった。大阪桜之宮ライオンズクラブはこれを、以前から交流のあった免田ライオンズクラブを通じて活用することを決定。免田ライオンズクラブでは被災地のライオンズを通じて支援を前提に検討し、高森ライオンズクラブを通じて南阿蘇村、新結成の熊本葵ライオンズクラブ（熊宮敏絃会長）を通じて益城町へ、それぞれ善意の浄財を贈ることになった。



5月18日、大阪桜之宮ライオンズクラブの浄財を西村博則益城町長に届けた桑崎陽彦地区ガバナーと、熊本葵、免田両クラブの役員たち

熊本葵ライオンズクラブは、地震がなければ4月24日に結成式を行うはずだった。が、熊宮会長を始めメンバーも被災したことから結成式は中止となった。熊宮会長は2度の震度7を記録した益城町に自宅と会社があり、いずれも被災。今回の地震で最も被害が大きかった益城町の安永地区にある実家も全壊し、夫人と二人で車中泊を続けていた。免田ライオンズクラブとしては、復興のシンボルとして新クラブの熊本葵ライオンズクラブをバックアップしたいと、支援先に選定したのだという。

5月17日、熊宮会長は桑崎地区ガバナー、佐藤武史、玉川孝西元地区ガバナー、免田ライオンズクラブ三役と共に益城町役場を訪問し、西村博則町長に大阪市民の善意を届けた。そしてその翌日、熊本葵ライオンズクラブとして最初の例会が開催され、メイン・アクティビティを被災地支援とすることを決定した。

一方、337・E地区では支援部隊の結成を計画。参加会員を募集したところ、続々と応募があり、余震が一段落した5月中旬には約80人が登録された。そこで地区は玉川元ガバナーを中心に被災地とのマッチングを開始。5月後半から本格的に被災地支援部隊としての活動を始めた。また337・E地区以外でも、多くのライオンズが被災地に入り、支援活動を展開した。

333・E地区青年アカデミー委員長の前若林純也（茨城県・水戸葵ライオンズクラブ）は本震翌日の4月17日に被災地に入り、特に被害が大きかつ







2度も震度7の激震に見舞われた益城町では町のあちこちで建物の倒壊が見られる。写真は特に被害が甚大だった安永地区

た益城町、西原村、南阿蘇村を回り、状況の確認とニーズの把握、支援の調整を実施。青年アカデミーや若手会員フォーラム、過去の被災地支援などで交流のある全国のメンバーと情報を共有した。

4月24、25日に西原村で行われた沖縄県・八重山ライオンズクラブ（岡部厚志会長／39人）と福岡大名ライオンズクラブ（郷原茂己会長／103人）による炊き出し奉仕は、若若林の調整により実現したものだ。

その後、水戸葵ライオンズクラブでは、若若林の情報を基に支援活動を計画。水戸市内の他クラブにも声を掛け、5月12日から18日まで1週間にわたって炊き出しを行うことを決定した。

その先乗りとして、若若林は5月7日から再び現地入り。同じタイミングで熊本に入っていた32・A地区青年アカデミー委員長の若木村知紀（青森県・弘前東奥ライオンズクラブ）や、若齋藤忠幸（青森ZEROライオンズクラブ）らと情報交換をしながら、炊き出し場所の調整を行った。

その結果、5月10日から18日まで、益城町と西原村の12カ所でライオンズクラブによる炊き出し奉仕が行われた。一連の活動に関わった会員たちの証言から、ライオンズならではの被災地支援活動を見ていこう。



## 支援の輪を広げ希望へ

「被災地のニーズ調査と支援の調整のため、現地でも1週間活動しました。現場は目まぐるしくニーズが変わり、変更や取り止めは当たり前。何度も心が折れそうになりました。が、出来ることを精いっぱいやるだけと調整役に徹しました。相手の方が何をしてもらいたいのか？ 今何が必要なのか？ それを探り形にすることが大切です。その中で最後の3日間は西原村と益城町で約3千食の炊き出しをさせて頂きました。そこにニーズがある限り、ライオンズにしか出来ない、いやライオンズだからこそ出来る支援が必ずあるはずですよ」

髙木村知紀（青森県・弘前東奥）

「被災地支援を行う上で重要なものは確かな情報です。そこで本震翌日の4月17日、支援物資を積み現地へ向かいました。被災地は大変な状況で、混乱していましたが、後の支援活動のため、4日をかけ益城町、西原村、南阿蘇村の各役場や避難所を訪問し、調整を行いました。その後、地元で準備を整え、5月7日に再び熊本へ。本隊到着までの4日間で最終調整をし、12日から1週間、各避難所で6千食の炊き出しを実施しました。復



5月12～18日の1週間、茨城県・水戸、水戸西、水戸東、水戸南、水戸北の市内6クラブ連合チームは延べ100人の会員が参加し、益城町と西原村の避難所や役場、ボランティアに向けて約6千食の炊き出しを実施。併せて、がれきの片付けやボランティアセンターの補助、物資搬入などの活動を行った

興までには時間がかかります。その中でライオンズに出来ることはたくさんあります。更に連携し、効果ある活動が実施されることを期待します」髙若林純也（茨城県・水戸葵）

「昨日まで幸せに暮らしていた人たちが、翌日には人生最大の苦境に立たされ、他者からの支援なしには生活出来ない。災害が自分たちの地域で起これば、我々が同じ境遇にいたはずですよ。本震の発生から約1週間後、炊き出し奉仕のため西原村を訪れ、改めて自然災害の恐ろしさと、人は大自然の中で、ただただ生かされているだけであることを痛感しました。支援物資搬入の際、物資の集積所を確認したところ、この1週間で生活必需品はほとんどそろっているようでした。そんな中、被災された方と触れ合いながら、今最も必要とされるのは、心のケアであると感じました」髙山本泰輔（福岡大名）

「武雄ライオンズクラブは熊本地震発生後、緊急アラート委員会を開き物資中継基地となることを決定。フェイスペインク等を通じ全国のライオンズに情報を発信し、地区を超えた連携で被災地を支援することにしました。全国から届いた物資は、その時点で最も必要とされている避難所に搬送、また富山県・高岡アラートライオンズ



ンズクラブの提案で7クラブ合同の炊き出しも実施しました。その後も青森チームや水戸チーム、明石チームなど、活動情報が入る度に一緒に活動させて頂き、一つの目的に向かう姿はまさにライオンズ魂だと感じました」

益石永扶佐夫（佐賀県・武雄）

「最初は4月25日、識名安信元ガバナーが炊き出しに入ると伺い、お手伝いのため参加させて頂きました。朝食から昼食にかけて約千食の炊き出しでしたが、子どもたちやお年寄りの笑顔を見ると、私たちが届けたのは単なる「食」ではなく、被災された方たちへの「思い」だったのだと感じました。その後、5月15日には明石魚住ライオンズクラブを中心とした合同チームの炊き出しに加えて頂きました。既に自衛隊は撤収してボランティアが活動しており、今回の主目的がボランティアの支援と聞き、的確なニーズの把握に感心しました」

青木和彦（鹿児島島谷山）

「青森や富山、茨城、千葉、兵庫など遠路から炊き出しの機材や食材、支援物資を携え被災地入りされたライオンの勇士たちと、縁あって一緒に活動させて頂きました。クラブや地区の枠を超えたアクティビティは初めての体験でしたが、それが出来るのもライオンズクラブという絆が



5月14～15日、兵庫県・明石魚住ライオンズクラブを中心に、東京、千葉、福井、愛媛、山口、鹿児島の有志会員が参加して、西原村山西小学校ボランティアサテライトで炊き出しを実施。ハヤシライス、牛すき丼、タコ焼き、焼きそばなど、2日間で約2千食をボランティアや近隣の被災者の皆さんへ提供した

あるからこそだと思えます。こうしたコロナ活動は、お互いを尊重し、情報を共有して迅速に対応することが重要で、今後、長期にわたるであろう熊本地震被災地に対する支援活動に生かしていきたいと思えます」

益石永雄二（熊本県・人吉）

益城町の避難所に「希望」と大書されたメッセージが掲示されていた。その中に「それぞれができる事をちよつとずつ、微力かもしれないけど無力じゃない」という一文があった。

今回の地震では、熊本市や益城町を中心に15人の会員が自宅全壊の被害を受けたのを始め、多くのメンバーが被災した。キャビネットも事務局の入るビルが損壊し、立ち入り禁止となったため、発災当初は正常に機能することが出来なかった。

そんな中、遠方の若手会員が被災地に先乗りして調整役を担い、その情報を基に、過去の災害などで豊富な支援経験を持つ会員たちが中心となり現地での活動を主導。また福岡佐賀、鹿児島、人吉など、被災地近隣のクラブや会員もネットワークを駆使して支援活動を展開した。

あのメッセージの通り、一人ひとりの活動は小さくとも、その力がつながり、輪となって広がっていけば、それは希望となるに違いない。



## 2016-17年度 地区ガバナー紹介

福岡国際大会で地区ガバナーに就任される各地区ガバナー・エレクトの皆さんに、新年度に向けての抱負、方針、重点目標などについて原稿を頂いた。

略歴①所属クラブ②ライオンズクラブ入会年③副地区ガバナー立候補要件のうち最上位の役職④職業⑤趣味⑥就任時の年齢

### District 330-C

#### 濱野 雅司



はまの まさし①埼玉県・岩槻  
ライオンズクラブ②97年③10年度キ  
ャビネット幹事④南濱野時計楽  
器店代表取締役⑤料理⑥59歳

スローガンを「あなたの奉仕で未来を変えよう We serve for the future」としました。100周年のガバナーとして地区を運営するに当たり「和を以て貴しとなす」の「和」を一番大切にします。メンバーの奉仕活動を全力で応援し、地域で輝く魅力あるクラブになるよう支援します。また、100周年のクラブ会長と共に次代を支える人材を育ててまいります。私の役目は地区運営の責任者であると同時に、クラブを応援し皆様を励まし勇気付けることです。微力ながら地区の発展のために一生懸命努力してまいります。

### District 331-A

#### 柏崎 昭朗



かしわざき てるあき①北海  
道・岩見沢中央ライオンズクラブ②  
84年③12年度キャビネット幹事  
④柏崎建設(株)代表取締役社長⑤  
旅行、ドライブ、釣り⑥72歳

スローガンを「奉仕は未来に生きる証」としました。私たちライオンは、職業人として多くの人と助け合って生活していることを忘れてはいけません。そんな現在において、自分たちの出来る奉仕(サービス)をすることが未来に生きる証へとつながるのです。ライオンズ創立100周年の節目を迎えるに当たり、我々も時代の変化に対応し、意識改革を行い、知恵を出し合うことが必要であります。今期1年間は額に汗して奉仕の原点に立ち返ることでライオンズが未来に向け太陽のごとく輝きを増すことが可能となるでしょう。

### District 331-B

#### 高橋忠四郎



たかはし ちゅうしろう①北海  
道・留萌みなとライオンズクラブ②  
77年③01年度リジョン・チェア  
パーソン④東和電機(株)代表取締  
役⑤音楽鑑賞⑥82歳

100周年を迎え、創立の原点に立ち現状を正視し未来を思索することも大切だと思います。敗戦の焼け野原から立ち上がり、世界に勇名を馳せた日本の電機メーカーの不振、消滅を見ますと、いかに今、「創業の原点」に立ち返り、努力するかが問われているように思われます。メルビン・ジョーンズは「我々が求めてきたのは奉仕の先にある友情である」という言葉を残しています。ライオンズクラブの活動は「地域」と共にあります。新しい出会いが、協働する仲間となる時、創立者の言葉は時代を超えて現代に生きるのです。

### District 330-A

#### 村木 秀之



むらき ひでゆき①東京数寄屋橋  
ライオンズクラブ②88年③02年度  
04年度キャビネット幹事④株むらき  
代表取締役⑤旅行、映画鑑賞、ス  
キューバダイビング⑥61歳

「自由」「信頼」「英知の絆」「きつてはならないいつまでも」といつもうたっています。スローガンを「よき伝統と新しい息吹を紡ぎ織りなして明日につなげる We serve」としました。100周年を迎える今こそ、ライオンズの原点である奉仕活動を再認識し、伝統の継承、そして、時代をとらえた新しい試み、これらの互いの長所を紡ぎ、織りなすことにより、地域の方々と一緒に、誇れるアクティビティと、これからのライオンズの発展を、共に考え、行動したいと願っております。

### District 330-B

#### 井出 孝



いであ たかし①神奈川県・平塚  
ライオンズクラブ②87年③10年度リ  
ジョン・チエアパーソン④井出  
産業(株)代表取締役⑤陶芸、カン  
トリー&ウエスタン演奏⑥68歳

テーマを「For The Future」とし、未来のために、頼りがいがあり、未来志向で合理性と機能性を併せ持った「コンパクトなキャビネット」を組織し、地区運営に取り組みます。次の100年、ライオンズクラブはどうあるべきか、どうすべきか、どうビジョンを持つべきか考え、取り組んでまいります。「笑顔で、正しく、和やかに」、問題、課題を解決していきます。感謝の気持ちを表すことが出来るのは人間だけです。互いに感謝し合い、歩むことが出来たら、すばらしい未来が待っていると考え、地区運営に臨んでまいります。



District 332-C

岩本 政郁



いわもと まさいく①宮城県・  
仙台青葉ライオンズ②97年③  
12年度ゾーン・チエアバロン  
④(株)百反代表取締役⑤七福神閣  
係取集⑥66歳

ライオンズクラブが100周年を迎え、世界211の国や領域で140万の会員が日々活動する過去に例を見ない世界最大の奉仕団体であることを踏まえ、スローガンを「人に、地域に、そして世界に、心を込めてWe Serve」、アクティビティ・スローガンを「地球は一つ未来に繋ぐ奉仕の輪」とさせて頂きました。ポップ・コリニュー国際会長としてのテーマは「次なる山を目指して」ですが、332・C地区は目の前の会員数2千の数字を早日にクリアし、次なる山、3千を目指すべく会員増強に最大の力を注ぎ、地区の活性化、発展を目指します。

District 331-C

本所 光男



ほんじよ みつお①北海道・室蘭東ライオンズ②91年③02年度キャビネット会計④本所工業(株)代表取締役社長⑤尺八、日本舞踊、骨董品収集⑥66歳

スローガンを「未来を拓く創造と奉仕の息吹を」としました。今こそ100年の原点を見つめ輝かしい未来を拓く(開拓)、創造(力)、奉仕(心)の息吹を(活気)を旗印に、まい進してまいります。331・C地区は北海道南の、渡島、後志、松山、胆振、日高と広い範囲が含まれます。25年前には約3千人いたメンバーも今や約1600人。10年で12クラブの解散があり、今こそ原点に立ち戻り、未来に向け確実につなげなければなりません。クラブの向上と次世代リーダー育成を推進し、ライオンズの発展に全力で取り組んでまいります。

District 332-D

二瓶 克雄



にへい かつお①福島県・郡山開成ライオンズ②96年③05年度キャビネット幹事④(有)二へい会計センター⑤映画鑑賞⑥57歳

2017年のシカゴ国際大会で100周年を祝うに当たり、私たちは過去に敬意を払い、現在を見つめ、未来へとスタートしなければなりません。当地区は、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所の事故に翻弄(たぶらか)されてきました。今年度からの5年間は復興ではなく自立に力点を置く復興・創生期間です。テーマを「前進」、スローガンを「あふれる笑顔で輝く未来」としました。次なる目標、奉仕を目指して、そして復興・創生期間の始まりを、笑顔で前を向いて、輝く未来へ着実に一歩ずつ進んでいきたいと思えます。

District 332-A

柳本 英洋



やなもと ひでひろ①青森県・八戸中央ライオンズ②88年③06年度キャビネット幹事④(三旺)調機(株)代表取締役⑤ゴルフ、旅行⑥68歳

地区運営に際し、諸先輩方に感謝すると共に、身震いしています。協会規定の範囲以内で柔軟に着眼点を変え、新事業など現在地域社会のニーズがある事柄に着目、人知れず隣人を助け、地域を住みよい場所に変えていきます。これらを決して偶然ではなく実施し、道筋を見つけ、情熱を持ち果敢に賢く奉仕に取り組み、「次なる山を目指して」奉仕のバトンを引き継ぎたいと思います。今年度は「無限の熱意で未来につなごう」「おたがいの笑顔に感謝でウィ・サーブ」と掲げました。皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

District 332-E

角田 裕一



つのだ ゆういち①山形県・寒河江臥龍ライオンズ②91年③06年度ゾーン・チエアバロン④(株)角田商事(株)代表取締役社長⑤ゴルフ、スキー⑥65歳

私は30年間、障害を持つ人たちのための支援を続けてまいりました。その気持ちは今でも変わっておりません。少しでも彼らの役に立ちたい、そういう願いを込めて、ガバナーテーマを「ノーマライゼーション」としました。アクティビティ・スローガンは「利他の心でウィサーブ」です。誰からも愛され尊敬されるライオンズクラブとして生まれ変われるように、利他の心を込めた奉仕活動の輪を広げていきたいと思えます。そして志を持った新たな仲間たちの受け皿になれるように、情熱を持って行動していきたいと思えます。

District 332-B

金野 幸造



こんの こうぞう①岩手県・一関中央ライオンズ②82年③08年度ゾーン・チエアバロン④(全野)幸造税理士事務所所長⑤掛軸鑑賞、庭いじり、ゴルフ⑥68歳

東日本大震災から5年が過ぎました。各地からのご支援に感謝申し上げます。スローガンは歴史の転換点と位置付け「100周年 次世代へ結ぶ絆で ウィサーブ」としました。この節目を、過去を振り返り、現在を見つめ、未来を展望するチャンスと捉え、100周年記念アクティビティを通じ、メンバーの意識を高め、クラブの活性化につなげ、来たる100周年祭を祝いたいと思えます。今年度当地で第71回「希望輝いわて国体」が行われます。そこで「クリーン作戦」を全県で展開し、連帯感も醸成出来たらと思っています。



District 333-C

松本 宰史



まつもと おさし①千葉県・南房総ライオンズ②95年③10年度ゾーン・チェアパーソン④元白浜町漁業協同組合長⑤パソコン・ドローン、凧揚げ⑥62歳

スローガンを「希望あふれる海原 奉仕の帆を上げ 新たな百年へ よーそろー」としました。海で鍛えられてきた関係から、テーマは海です。何より大切なことは、松本丸の出航には、荒海が待っています。1年間の航海から無事帰港するには、チーム一丸となって取り組まねばなりません。その過程や取り組みからライオンズの精神を分かち合い、自信と誇りを高めること。地区メンバーはもとより地域社会が豊かな心を育むライオンズ活動を念頭に置き、更なる100年に向かう組織力の構築を目標にしたいと思います。

District 332-F

菅 卓司



すが たくじ①秋田県・雄勝小野小町ライオンズ②94年③11年度ゾーン・チェアパーソン④社会福祉法人かむろ理事長⑤外国語会誌⑥56歳

100年前といえば、第一次世界大戦の真っただ中だ。それから世界恐慌、第二次世界大戦を迎える。そして現在。福祉に公共にと大きな借金をしながらジャブジャブ税金をつぎ込む現在の日本社会ではアクティビティの本質が変化してしかるべきだ。従来の慣例にとられない活動も必要であろう。私の任期では、少ない献金を最大限に活用し、ライオンズでなければ出来ない、会員誰もが参加しやすく、100周年を楽しめる、そんな活動を目標にしたいと思っている。「センチニアルみんなでライオンズをたのしもう」。

District 333-D

藤井 良昭



ふじい よしあき①群馬県・渋川ライオンズ②81年③08年度リジョン・チェアパーソン④南藤井労働管理事務所⑤写真⑥78歳

スローガンを「友愛と奉仕」とし、ガバナー業務にまい進する決意を新たにしております。奉仕活動を使命として行うライオンズクラブの根本は「友愛」であり、広い世界で人と人を結ぶ絆が原動力です。これまでのライオンズの歴史を鑑み、効率の良い地区運営並びにクラブ運営、クラブの個性を生かしたアクティビティ推進、そして「地域との協働」を更に深めていけるよう支援・整備し、100周年に向けて更なる発展に尽力することを今期地区運営の基本と考えております。ライオンズム高揚に誠心誠意、努めてまいります。

District 333-A

加藤 敏敦



かとう としあつ①新潟県・三条中央ライオンズ②89年③07年度ゾーン・チェアパーソン④角利産業株式会社⑤家庭料理、庭園芸⑥69歳

2年間の研修期間を経て、ここまでたどり着くことが出来ました。次年度は、ライオンズクラブ国際協会創立100周年のスタートに当たり、これまでの歩みを見直し、次への100年に向け、次代を担う青年・女性会員増強を積極的に推進し、地域のニーズに合ったインパクトのある奉仕活動を展開する1年に、との願いを込め、スローガンを「つなごう未来へ、新たな出会いと心の奉仕」を掲げました。地区を上げて100周年記念のスタートにしたいと思います。同期ガバナー各位には、より一層の情報交換を致しましょう！

District 333-E

中嶋 正昭



なかじま まさあき①茨城県・日立ライオンズ②98年③08年度ゾーン・チェアパーソン④中嶋メディカルサブライイ株代表取締役⑤旅行、ゴルフ⑥70歳

スローガンは「みんな仲良く」です。平易な言葉にこそ真理があるものです。意見の相違は誰にでも、どこにでもあります。しかし同じ志を持って入会したライオンが同じ方向に向かって小さな一歩を踏み出すことが出来れば、大同団結も出来るものと信じます。ライオンズクラブはシカゴ国際大会で100周年を迎えます。記念事業を盛大に盛り上げつつ、地道に奉仕活動を進めましょう。そして、明るい社会づくりを目指してこれからも活動していきましょう。今後とも、会員皆様のご活躍を心よりお祈り致します。 We serve

District 333-B

福田 幸信



ふくだ ゆきのぶ①栃木県・今市ライオンズ②77年③02年度ゾーン・チェアパーソン④株式会社イー代表取締役会長⑤読書、ゴルフ⑥76歳

スローガンを「積小為大」としました。会員一人ひとりが小さな積み重ねを大切にして目標達成するという私の思いです。会員増強は永遠の課題であり、それには会員の維持も重要課題だと思えます。そのためには、楽しい例会こそがライオンズの原点であり、その結果各種の奉仕が出来ること確信している次第です。年次大会のテーマも「明日のクラブの為に！」とさせて頂き、第一歩を踏み出します。会員全員が協調と相互の理解と共にこの1年間微力ながら努力する所存です。



District 334-D

久野 好輝



ひさの よしてる①福井県・あ  
わら三国ライオンズ②76年③  
99年度ゾーン・チェアパーソン  
④久野印刷(株)⑤ゴルフ⑥77歳

ライオンズクラブが100周年を迎える千載一  
遇の年に当たり地区ガバナーとして活躍出来ま  
すことは、誠に大きな感動であり、重大な役割実行  
のチャンスでもあります。スローガンは「ひろげ  
よう つなげよう 奉仕の心」と致しました。1  
00周年を祝い、記念事業目標を達成させ、次世  
代の若者たちを育み、奉仕の心を伝えることが私  
たちの使命だと思っています。奉仕活動の感動と  
出会いの喜び、人々の和を大切に、女性と家族会  
員、地域を呼び込んだ100周年記念レガシー奉  
仕活動を第1目標と致します。

District 334-A

垣見 正則



かきみ まさのり①愛知県・一宮  
サウスライオンズ②79年③11  
年度ゾーン・チェアパーソン④(株)  
垣見設計事務所⑤ゴルフ、旅行、  
クラシック音楽鑑賞⑥71歳

国際協会創立100周年を迎え、次の200周  
年に向けて起点となる年として、「夢・創造・未  
来への懸け橋」をスローガンに掲げました。  
未来のライオンズを見据えて青少年健全育成に  
力を入れ、地域の若手リーダーを育てます。また、  
会員の資質向上を目的としたセミナーを行い、若  
者や女性から理解される魅力ある組織作りを目指  
し、会員増強を推進します。ライオンズクラブの  
原点である奉仕活動の基礎を支えるLCIFへの  
献金活動を積極的に行い、充実したアクティビテ  
ィにつなげてまいりたいと思います。

District 334-E

武田 善彦



たけだ よしひこ①長野県・松  
本ライオンズ②98年③10年度  
キャピネット幹事④巴協栄リネ  
ン(株)代表取締役⑤ゴルフ、音楽  
鑑賞⑥63歳

スローガンは「100年の力」より強く、よ  
り高く、新たな変革を」としました。ライオン  
ズクラブ国際協会は100周年を迎えます。諸先  
輩方の輝かしい歩みに敬意と感謝の念を禁じえま  
せん。しかしながら激動の時代の流れの中で、そ  
の時々の変化に適合出来ない組織は、消滅する運  
命にあります。私たちは、今まで培われた奉仕の  
心と行動を、これからの100年に向けて今まで  
以上に強固に、そして崇高な精神を堅持しつつ、  
変えるべきは変える勇気が必要です。新たな10  
0年に向けて確実な一歩を歩んでまいります。

District 334-B

岩花 義治



いわはな よしはる①岐阜県・  
高山ライオンズ②87年③12年  
度ゾーン・チェアパーソン④(有)  
高山ビジネススマシン代表取締役  
⑤誦、食、車⑥73歳

メルビン・ジョーンズのDNAを100年息づ  
かせ、輝かしい歴史を積み重ねてこられた先人の  
高潔な努力と遺徳は、一言で語り尽くせません。  
先輩方が注ぎ込まれた情熱に感謝しながら、現在  
私たちが次の100年への橋渡しをする使命を担  
っていることにも目を向けなければなりません。  
各単一クラブが次の100年に向かい今まで以上  
に活性化するには何が必要なのか、時代に即した  
クラブのあり方とはどういうものなのか、方向を  
示す良い機会と捉え、節目の年に、皆で考え、行  
動する1年間にしようではありませんか。

District 335-A

三宮 秀介



さんのみや ひですけ①兵庫県・  
神戸須磨ライオンズ②83年③07  
年度リジョン・チェアパーソン④  
(株)インテリアさんのみや代表取締  
役会長⑤ゴルフ、歴史散策⑥72歳

ガバナーテーマを「継承」、ガバナーキーワー  
ドを「検証と前進」としました。ライオンズクラ  
ブは100周年を迎えますが、会員の減少・高齢  
化等、さまざまな課題を抱えています。しかし、  
地域に密着した奉仕活動や、LCIFの資金を使  
って実施する世界規模の事業等を途絶えさせては  
なりません。次の100年に向かって、ライオン  
ズの活動を「継承」することが肝要と考えます。  
しかし、ただ単に全てを「継承」するのではなく、  
守りつなぐべきことと、変えるべきことの「検証」  
を重ねながら、「前進」したいと思っています。

District 334-C

坂倉 三吉



さかくら さんきち①静岡県・  
下田ライオンズ②96年③09年  
度ゾーン・チェアパーソン④医  
療法人社団桑寿会代表理事⑤ゴ  
ルフ、読書⑥65歳

スローガンを「広めよう奉仕の輪、繋げよう次  
の100年へ、愛と希望をのせて」としました。  
ライオンズクラブ100周年の記念すべき年度の  
地区ガバナーとして「Be Seen」の基本を再認  
識し、更にコミュニティーに溶け込むべく、心の  
込もった奉仕活動の輪を広め、楽しいライオンズ  
ライフを大いにアピールして、会員増強につなげ  
ていきたいと考えております。次世代ライオンズ  
の育成に力を注ぎ、次の100年を目指して、活  
気にあふれ、魅力あるライオンズクラブの会員で  
あることを誇りに、1年間まい進致します。



District 336-A

真鍋 隆



まなべ たかし①香川県・こん  
びらライオンズ②83年③09年  
度リジョン・チェアパーソン④  
株まなべ結婚式場代表取締役⑤  
スポーツ観戦⑥60歳

当地区は四国四県会員6千余人の準地区です。国際協会が100周年を迎える今年度のスローガンを「100周年、夢と誇り・笑顔と絆でMove Forward」、キーワードは「挑む」としました。伝統や先人のレガシーを尊ぶと共に、改革元年の気持ちで任に当たります。キャビネットは、単一クラブの運営がスムーズに出来るよう指導・推進する立場です。事業の実施主体はクラブですので国際会長方針や新しい情報等を迅速かつ正確に分かりやすくお伝えすることを心掛け、情熱を持って1年間捧げ尽くします。笑顔でがんばります。

District 336-B

大谷 博



おおたに ひろし①岡山ライオンズ②86年③12年度ゾーン・チェアパーソン④株岡山みどり製本代表取締役社長⑤温泉めぐり⑥67歳

私は、岡山ライオンズから6人目の地区ガバナーです。先輩方の愛したライオンズクラブが創設100周年を迎えるこの年、次なる100年への第一歩と考え、スローガンを「エフォート・トゥ・チェンジ(変わる努力をしよう)」と致します。明るく陽気で元気のある336・B地区に変えていけるよう会員皆様方のお力を借り、時代にマッチしたライオンズにしていきたいと思えます。そして、次世代育成という大きな目標に向けてライオニズムの高揚に励みます。

District 336-C

安田 克樹



やすだ かつき①広島県・竹原ライオンズ②06年③13年度リジョン・チェアパーソン④医療法人社団仁慈会理事長⑤多趣味⑥74歳

スローガンを「乗り越えて、輝け育て、行動指針を「謙譲と中庸」とした。100年という歴史の陰の幾多の努力を思う時、衷心より先輩に敬意と感謝の意を表したい。日本ライオンズのグローバル化を推進中の山田實絏国際会長も日本独自の良さは残しつつ、それにとられすぎると衰退につながりかねず、それにより世界に向けての発信力も弱まることを危惧されている。要・不要の思惑や慣習を再考し、奉仕する側もされる側も、共に輝くライオンズに育て！と願うと共に、次代を担うリーダーの発掘と育成に力を注ぎたい。

District 335-B

川野 浩史



かわの ひろし①大阪すみのえライオンズ②98年③13年度リジョン・チェアパーソン④株オフィス・カワノ代表取締役⑤ソフトボール、ゴルフ、食べ歩き⑥55歳

日本有数の会員数を誇る準地区を率いていくに当たり、持ち前の笑顔と体力と機動力で精いっぱい努力をする所存です。会員相互の交流を積極的に図り、パワーを結集し未来を担う青少年たちの健全育成に主眼を置き、情熱の込められた、夢のある奉仕活動を展開していきたいです。また、ITツールを駆使して情報交換を迅速にし、会員同士はもとより他地区との交流も引き続き積極的に行っていきたく思っています。情熱を持って、夢を与える会員であるために……。

District 335-C

神崎 守



かんざき まもる①京都やわたライオンズ②95年③13年度ゾーン・チェアパーソン④株昭和設備汽機代表取締役⑤ロードバイク、ゴルフ⑥71歳

国際会長の方針に沿いつつ、地区委員会の積極的雰囲気や活動方針に、以下のことを計画しています。①会員増強②青少年育成③LCIFへの全員参加④視力・献血・聴覚⑤次世代リーダーの育成。これらに各方面のゆるやかな(若いライオンが発言し、活躍しやすいライオンズ)変革の実践が公式訪問を機に意見交換をし、協力を得たいです。また、地区外に出て違ったことを見聞し、地区内に反映したいと考えています。これらを100周年事業の一環として捉え、地区発展と100周年事業の成功に結びつくよう努力します。

District 335-D

江草 長史



えぐさ おさふみ①兵庫県・和田山ライオンズ②99年③13年度ゾーン・チェアパーソン④兵庫熔材代表取締役⑤プロ野球観戦、音楽鑑賞⑥57歳

「Move into Action」をアクティビティ・スローガンに今一度、次なる100年へ向けて行動を起こしたいと思えます。まずは、単一クラブの現状をしっかりと確認し、最近元気がないクラブ、メンバーが減ったクラブが元気を取り戻すことが出来るようお手伝いをします。そうすることが準地区の未来を明るくし、会員維持・増強につながっていくと確信します。「老壮青」がうまく融合し、入ってみたい、一緒に活動してみたいと思われるような奉仕団体を目指していこうと思えます。一緒にワクワクしましょう！



District 337-C

久保 秀之



くぼ ひでゆき①長崎中央ライオンズ②84年③07年度リジョン・チェアパーソン④南クボ調剤薬局代表取締役⑤絵画制作、鑑賞⑥69歳

今後の100年に向かって更なる飛躍をするためにはより一層の努力が必要です。今グローバル化の時代を迎え、世界・日本・地区全体で会員が減少傾向にあります。ライオンズクラブは「We Serve」が原点です。「継続と数は力なり」会員の増強なくして質の高い奉仕活動は難しいです。地区のリーダーを務めるに当たり、歴代リーダーが成し遂げてこられた経験の礎を守りながら、常に危機感と目標を持って、皆さんと一丸となり、ライオンズクラブの向上のために対外的なアピールを考えながら職務を全うする所存です。

District 336-D

藤本 幸嗣



ふじもと こうじ①山口県・岩国校ライオンズ②00年③09年度ゾーン・チェアパーソン④あかり電気㈱代表取締役⑤パレール、スキー⑥56歳

スローガンを「誠実・謙虚で絆を大切に We Serve」とyせて頂きました。ライオンズが100周年を迎える新しい節目の時にガバナー職を拝命しました。今年度は初心に戻りライオンズ道徳綱領に忠実に進めたいと思います。ライオンとして誠実でそして謙虚で地域の皆様が必要とされる人格を目指して、そして、会員一人ひとりが絆を深めて、クラブ同士が支え合い、ゾーン内の友好を深め、リジョン内が協力し合える団体を目指して頂きたいと思えます。1年間ではございますが、どうかよろしくお願ひします。

District 337-D

喜禎 光弘



きてい みつひろ①鹿児島県・喜界ライオンズ②87年③14年度リジョン・チェアパーソン④朝日酒造㈱取締役会長⑤ゴルフ、音楽⑥76歳

創立100周年を迎えるライオンズの歴史を未来永劫存続させるには、単一クラブの更なる隆盛が肝要だ。山田国際会長指揮の下、その集大成である福岡国際大会が開催され、2013年10月にスタートした家族会員導入による成果など、地区ガバナーとしての責任の重さを実感している。地区スローガンを「新たな世紀に挑む」とし、自身のテーマを「和と改革」とした。国際協会の目的を推進することを基本に、特にクラブ及び地区レベルの指導力育成を重点目標に掲げ「チャレンジ精神」で事に当たっていききたい。

District 337-A

田中 孝文



たなか たかふみ①福岡県・北九州第一ライオンズ②91年③04年度ゾーン・チェアパーソン④㈱北九州地域開発代表取締役⑤読書、ゴルフ⑥74歳

100周年を迎えるライオンズクラブ国際協会。今こそ37・A地区は一層結束し、伝統を重んじ、改革に着手しなければと考えます。言うは易く行うは難いですが、節目にこそいいスタートを切りたいものです。有言実行の精神で、地区の皆様には大変な活躍を期待しています。細かな話し合いを重ねながら今後進む道を全員で探求し実践します。諸先輩のご指導と地区内の全ライオンのご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

District 337-E

安田 倭也



やすだ しずや①熊本県・八代球磨川ライオンズ②75年③92年度リジョン・チェアパーソン④安田石油㈱代表取締役⑤囲碁、古美術品収集⑥78歳

今、ライオンズクラブ国際協会100周年に向けての数々の行事が予定されています。世界中のライオンとシカゴで100周年をお祝い出来ることが楽しみです。記念すべき年にガバナーの指名を受けることを光栄に感じると共に責任の重さを厳粛に受け止めております。当地区会員2千人突破を目標として会員増強、ガバナーテーマの「リテンション」により会員維持を達成し、新クラブ結成に向けて、地区役員と皆様のフル活動により目標の会員増強を達成し、E地区が「輝くよう」日々、信念を持って前進していく所存です。

District 337-B

吉見 章一



よしみ しょういち①宮崎ひむかライオンズ②89年③04年度キャビネット幹事④南吉見歯科器械店代表取締役⑤旅行、ゴルフ⑥65歳

ライオンズクラブの精神である「We Serve」を達成するために、多くの会員による活動が望まれます。先輩諸氏が築かれた良き伝統を守り、変革の必要なものは刷新を行い、地域と共に歩む活動が奉仕の原点にあります。停滞することなく伝統・刷新・飛躍をもって奉仕で恩返しを、継続したP、D、C、A (Plan Do Check Act)によりスローアップし前進します。その意味でスローガンを「未来へ奉仕のバトン」と致しました。皆でネットワークステージへステップアップしましょう。





■国際理事  
佐藤宜之  
(大分)

熊本、大分で地震が発生して約1カ月。5月13日、私は熊本に向かった。

私が住む大分市から車で行くには、『荒城の月』で有名な竹田市を通り、阿蘇の外輪山を下ってゆくの最短距離だ。しかし今はこのルートの道路状況が正確につかめない。少々時間は掛かるが、佐賀県の鳥栖ジャンクションから熊本道へ入る高速道路を使うことにした。道中は大分道の由布院インターチェンジ手前が崖崩れのため片側一車線規制をされているのみで、スムーズに市内に入ることが出来た。高速道路から見える風景はどこで地震が発生したのか分からないくらいで、たまにブルーシートで覆われた屋根を見掛ける程度だった。

早速337・E地区キャビネット事務局があるホテルに向かった。桑崎陽彦地区ガバナーと玉川孝元地区ガバナーが被災地を案内してくれた。震度7に見舞われた益城町を案内された時、その被害の凄まじさに驚愕した。原形をと

## 熊本・大分地震に思う

どめない家、1階部分が完全に潰れた家屋、建物が傾き壁は崩落、鉄骨の柱がむき出しのビル、筆舌に尽くし難い状況だ。益城町を離れ市内に向かう途中の、液化化現象によるビルや一般住宅の傾きもひどい。一見被災を免れたように見えるビルでも、外壁にひびが入りかなりの被害を受けている。

ホテルに帰り着き、私たちは災害発生時にライオンズとしてどんな支援が出来るか話し合った。被災者が最も大変なのは、災害発生当日から4日間くらいだそうだ。すぐに必要なものは飲み水、おにぎりまたはパン。ガス電気水道が全て使えない中では、お湯が必要な即席麺などインスタント食品は役に立たない。その他ポータブルトイレや衛生用品も必要だ。

一番大切なことは、ライオンズがいかにして被災者に災害発生後すぐに物資を届けられるかだ。4、5日ぐらいすると全国から多くの支援物資が届けられ、市、県、国の援助が始まり、被

災地への運搬手段も整ってくる。現在のライオンズの支援方法は、被災地域の地区やクラブに状況調査を依頼し、支援物品や義援金を送っている。しかし実際は被災地のメンバーは自分たちの身を守ることで精一杯だ。これでは必要な時にタイムリーな災害援助が出来ない。援助のスピードが要求される。3人でいろいろな話をした中、結論として、八複合地区が協力し災害支援のための「行動マニュアル」を作成する必要があるということになった。支援金も災害発生後に集めるのではなく、日本レベルで緊急災害資金をプールし、被災当日にも支援活動が開始出来るようにする必要性を感じた。

話をしている最中も余震に見舞われた。震度1以上が1500回を超える余震に、大人も子どもも恐怖のため精神的に参っている。ライオンズは今後、被災した方々のメンタルケアにどこまで協力出来るだろうか。そう思いつつ、夜の高速道路を大分に向かった。



# LIONS NEWS CASSETTE

## 関東・東北豪雨災害被災地にともつた「希望の灯り」

昨年9月の関東・東北豪雨で鬼怒川の堤防が決壊し、大きな被害を受けた茨城県常総市に、東日本大震災の被災地・岩手県大槌町から「希望の灯り」が分灯され、5月27日、モニユメント設置場所の市役所敷地内で点灯式があった。「希望の灯り」は阪神・淡路大震災から5年後の2000年、47都道府県から寄せられた種火の一つにして、兵庫県神戸市に点灯された。この「灯り」はその後、東日本大震災で被災した岩手県陸前高田市と大槌町、福島県南相馬市に分灯された。このうち大槌の「希望の灯り」は、震災以来同地で支援活動を行っていた福井県・敦賀みなとライオンズクラブと、大槌ライオンズクラブ



により建立された。

そして今回、常総市にある水海道ライオンズクラブ（中村安雄会長/55人）が、被災した市民の心の支えとなるモニユメントとして設置を提案。それを知った下川利澄333・E地区ガバナーが、地区の事業として実行することを決断した。水海道ライオンズクラブは早速、東日本大震災での支援活動を機に大槌ライオンズクラブと友好クラブとなっている水戸葵ライオンズクラブを通じて「希望の灯り」の分灯を打診。大槌側から快諾を得て、この日の設置となった。前日には大槌町で、大槌ライオンズクラブと、福井から駆け付けた敦賀みなとライオンズクラブの会員が立ち会う中、灯りが分けられ、常総市へ運ばれた。

常総の「希望の灯り」は高さ1・5mで、白御影石の台座の上にガス灯がとまる。この日の点灯式には、常総市やライオンズなど関係者約80人が出席。神職による神事に続いて、高杉徹常総市長、下川ガバナー、中村会長、田中幸郎大槌ライオンズクラブ第1副会長が代表して、灯りをともした。点灯を終えた高杉市長は灯りを見つめながら、「これは大災害から立ち上がるうとする市民の願いが込められた灯りであり、それをしっかりと受け止め、復興に向けて全力で取り組みたい」と、決意を新たにしていた。



## 2016・17年度各複合地区ガバナ ー協議会議長

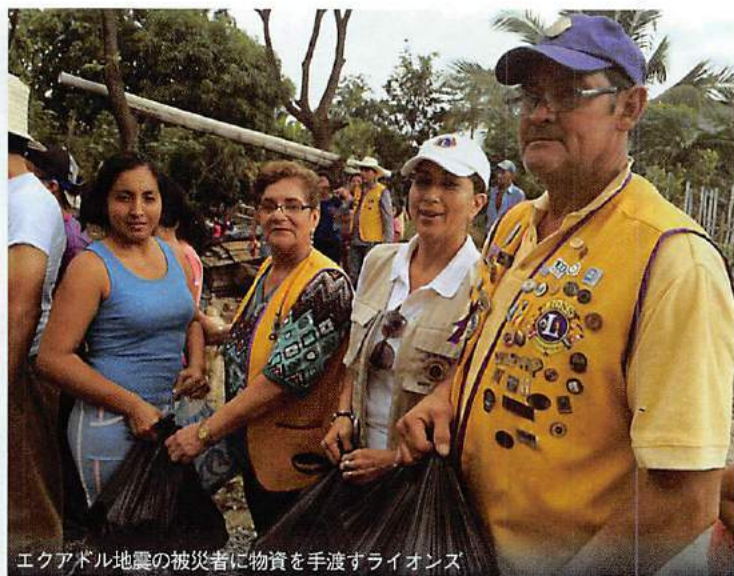
2016・17年度、330～337各複合地区のガ  
ナー協議会議長の就任予定者は左記の8人。

- 330複合地区：井出孝(330・B地区ガバナ)
  - 331複合地区：柏崎昭朗(331・A地区ガバナ)
  - 332複合地区：柳本英洋(332・A地区ガバナ)
  - 333複合地区：中嶋正昭(333・E地区ガバナ)
  - 334複合地区：久野好輝(334・D地区ガバナ)
  - 335複合地区：神崎守(335・C地区ガバナ)
  - 336複合地区：安田克樹(336・C地区ガバナ)
  - 337複合地区：吉見章一(337・B地区ガバナ)
- 各協議会議長は八複合地区ガバナー協議会議  
長連絡会議の構成員となる。

## 3週間で3件のLCIF大災害援助 金が交付

今年4月半ばから半月余りの間に、世界各地  
で大規模な災害のニュースが相次いだ。4月16  
日、熊本地方を震央とするマグニチュード7・  
3の地震が相次ぐ地震の本震と発表されたその  
日、エクアドルではマグニチュード7・8の地  
震が発生し、死者・行方不明者は700人に及  
んだ。それから2週間が経った5月1日、カナ  
ダ西部のアルバータ州で山火事が発生し、住民  
約9万人が避難。約16万トンが焼失した。

LCIFはこれら大災害の発生を受け、わず  
か3週間のうちに3件の大災害援助金の交付を  
決定。熊本地震に対しては25万ドル、エクアドル  
地震には15万ドル、カナダ西部山火事には10万ドル  
が交付され、地元ライオンズによる支援活動の



エクアドル地震の被災者に物資を手渡すライオンズ

資金となっている。

LCIFの災害援助には災害の規模や支援の  
段階に応じて、緊急援助金(上限1万ドル)、今年  
度新設された防災準備交付金(5千～1万ドル)  
と地域復興交付金(上限2万ドル)、大災害援助金  
(同100万ドル)の4種類があり、このうち大  
災害援助金を除く三つは地区の申請に対して交  
付される。大災害援助金は甚大な被害をもたら  
す大規模災害が発生した場合、国際会長、LC  
IF理事長、LCIF理事会の承認で交付され  
る。この交付金は緊急のニーズに対応した後も  
被災者への支援を継続し、長期的な復興事業を  
実施するために資金を提供するもの。日本で発  
生した大災害では、阪神・淡路大震災に対して

15万ドル、東日本大震災には100万ドルの大災害  
援助金が交付されている。阪神・淡路大震災が  
発生した95年当時、大災害援助金の上限は年間  
に10万ドルと定められていたが、未曾有の震災を  
受けてその年の国際理事会で限度額を25万ドルに  
増額。翌年度の理事会では大災害援助金の限度  
額が災害1件当たり100万ドルに、緊急援助金  
の限度額が5千ドルから1万ドルに引き上げられ  
た経緯がある。

## 難民支援のためユースキャンプ中止 を決めたスウェーデンのライオンズ

スウェーデンのライオンズは国内で開催する  
ユースキャンプの一つを中止することを決定し  
た。シリアとアフガニスタンからの難民にライ  
オンズ・グリーン・キャンプの施設を提供する  
と決めたからだ。ストックホルムの南西120  
キロに位置するライオンズ・グリーン・キャンプ  
には、約80人の難民が暮らすことになっている。  
キッチン、居間、シャワー・ルームに洗濯機を  
備えた広くて清潔な宿舎が、苦難の末に故郷を  
逃れてきた人々を温かく迎え入れる。

スウェーデンでは2015年に16万人の難民  
を受け入れており、政府は押し寄せる難民のた  
めに宿泊場所を用意しよう市民に呼び掛けて  
いた。スウェーデン(10複合地区)のYCE委員  
長を務めるマッツ・グラナスは言う。

「これは国と各自自治体にとって大きな挑戦です。  
私たちには難民の方々がいつまで滞在すること  
になるかわかりません。それは彼らがスウェー  
デンの滞在許可を得られるかによります」





ノルウェーのライオンズが支援物資を届けたレバノンの難民キャンプの子どもたち

ユースキャンブには29カ国50人の青少年が参加することが予定されていた。ほとんどの参加希望者は、他の場所で開催されるユースキャンブに受け入れてもらうことが出来た。グラナス委員長は今回の決断について、次のように話している。

「参加を予定していた青少年には申し訳ありませんが、スウェーデンのライオンズは正しい判断をしたと確信しています。人々を助けること、それがライオンズです」

スウェーデン・ライオンズ援助基金(Swedish Lions Help Fund)のウェブサイトによれば、スウェーデンとノルウェーのライオンズはシリア難民支援のために1300万円余りを拠出。LCIFを通じて国連難民高等弁務官事務所や難民支援NGOのキャンブがあるレバノンやヨルダンのライオンズに送られ、主に子ども用の衣類やベビー・フード、飲料水などが提供される。レバノンとヨルダンの難民キャンブには約140万人が避難し、支援を必要としている。

## 受益者8500万人に達した100周年記念奉仕チャレンジ

国際協会創設100周年記念プログラムの一つ、100周年記念奉仕チャレンジ(Centennial Service Challenge=CSCh)は2018年6月までに青少年、視力、飢餓、環境保全の4分野で1億人への奉仕を目指している。5月11日の時点で、奉仕を受けた人の数は8544万1769人に達した。各奉仕分野で2500万人への奉仕が目標だが、青少年は2898万人と既に目標を上回り、環境も2379万人と目標達成に近づいている。CSChのデータは各クラブによるMYLCIの奉仕活動報告に基づく。チャレンジが開始された14年7月以降、CSChに参加したクラブは全体の58%。50%のクラブが青少年関連の事業を実施し、環境分野では234万3795本が植樹された。CSChの達成状況は協会ウェブサイトで随時報告されている。

## LCIF年次報告に見る台湾ライオンズの顕著な貢献

本誌3月号ではLCIFの2014・15年度報告として各分野における成果や支援を受けた人たちの声を伝えるストーリーを紹介したが、毎年発行されるLCIF年次報告には収支報告や、献金を通じて大きな貢献を果たした個人と地区が発表される。昨年度の年次報告によれば、献金総額は3982万ドル、交付金は530件4370万ドル。献金では台湾ライオンズが著しい貢献を果たした。個人では5万ドル以上の大口献金者16人のうち14人が台湾(他にアメリカとイ

ンド)、地区別では献金額上位10地区中6地区が台湾(第2位に日本の334・A地区、他に韓国が3地区)、会員一人当たり献金額でも上位10地区中9地区を台湾(1地区は中国)が占める。地区別献金額が最も多かったのは台湾の300・G2地区(168万ドル)、会員一人当たり献金額は300・E1地区の403ドルがトップだった。また、献金増加率が最も多かった地区は、前年比1922%のフィリピン301・B2地区。同地区のエリアはフィリピン中部レイテ島を中心とする東ビサヤ諸島で、2013年11月に台風30号の直撃を受け甚大な被害を受けた地区だ。高潮などによる被害で死者6千人、行方不明者1800人、家を失った人は400万人に達し、被災者は1400万人余りに上った。この大災害に対してLCIFは総額200万ドルを交付。地元ライオンズは行政と連携しながら、住宅再建、障害者、孤児、教育に対する支援などに取り組んだ。同地区の大幅な献金増加は、LCIFと世界のライオンズの支援に対する感謝と、いつ起こるともしれない新たなニーズに貢献しようという意思の表れだろう。

## ライオンズクエストを実践する教師向け書籍発行

ライオンズクエスト・プログラムの日本国内での版權管理と普及促進を担う特定非営利活動法人青少年育成支援フォーラム(JIYD)から『ライフスキル授業お助けレシピ』(B5版/800円+税)が発行された。執筆者はライオンズクエスト認定講師の柴咲子氏。13年間





する教師へのアドバイスとしてまとめた。本書に関する問い合わせはJIYD (TEL 03・3440・3373 FAX 03・3440・4447 Eメールinfo@jiyd.org) まで。

にわたりライフスキル授業を実践してきた筆者が、ワークショップを受講しプログラムを実践

会議録

■第10回ライオン誌日本語版委員会(5月10日) ①ライオン誌日本語版の運営②事務所統合委員会③2016年5月号(4月20日見本)9万7200部発行)出来④6月号記事内容の確認⑤7月号以降台割(案)⑥ライオン誌デジタル化⑦eMNR ServannaAの他

■第10回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議(5月17日) ①出席者紹介と案件進行について②麻薬・覚せい剤乱用防止センター富澤専務理事からのごあいさつ③【337複合地区】熊本地震災害義援金について④一般社団法人日本ライオンズ今後のスケジュールについて⑤諸会費請求の再検討について(334複合地区印田議長)⑥ケニヤ学校建設支援について⑦第99回福岡国際大会関連⑧MYLCIとサバンナ(IT委員長連絡会議)⑨LCIFからのお知らせ(2016・17LCIF理事長公式訪問セミナー)⑩(2016福岡大会DGEセミナー)城阪ゲル

1プリーダーからのお願ひ⑪その他⑫各種会議要録・委員会報告⑬日本ライオンズ事務所運営関係⑭年度最終の議長連絡会議及び引継ぎ会議

新結成/解散/合併クラブ

■新結成クラブ  
香川県・高松フェニックス(二見尚子会長/23人) ▼4月26日認証▼スポンサー/高松北  
栃木いずみ(山中一男会長/26人) ▼5月6日認証▼スポンサー/栃木うづま  
熊本葵(熊宮敏紘会長/23人) ▼5月16日認証▼スポンサー/熊本マグナ

■解散クラブ  
4月11広島県・尾道せとうち(合併)  
■合併クラブ(合併前のクラブ)  
広島県・尾道因島(尾道因島/尾道せとうち)

訃報

■元国際役員  
杉大野泰一(岩手県・盛岡不來方) 5月1日死去。91歳。84年度332複合地区協議会議長、332・B地区ガバナー。97年、アメリカ・ペンシルベニア州



ファイラデルフィアで開催された第80回国際大会で国際理事に就任。国際親善大使賞受賞。

杉浅野貞三(福岡県・中間) 5月1日死去。77歳。13年度337・A地区ガバ

ナー。

献眼者

3月11杉長島進(島根県・出雲広瀬)  
4月11羽酒井幹治(愛知県・江南) / 羽曾根原武徳(静岡県・伊豆長岡)  
◎ライオンとしての多大な功績をたたえ、ご冥福をお祈り申し上げます。

国際大会開催予定

第1000回17年6月30日〜7月4日/アメリカ・イリノイ州シカゴ  
第101回18年6月29日〜7月3日/アメリカ・ネバダ州ラスベガス  
第102回19年7月5日〜9日/イタリア・ミラノ  
第103回20年6月26日〜30日/シンガポール  
第104回カナダ・モントリオール



シカゴ川河口と周辺のビル群 ©Choose Chicago





ライオンズの100年の歴史と奉仕活動の足跡を伝え、その真価を物語るストーリーの数々を紹介します。写真とテキストは100周年ウェブサイト (lions100.lionsclubs.org) でも閲覧出来ます。

## ライオンズクラブ国際財団 (LCIF)

**ラ**イオンズは半世紀にわたり世界的に拡大した後、会員による寄付の力を増幅する方法として1968年にライオンズクラブ国際財団を設立しました。ライオンズが世界中に広がると、会員の奉仕に資金を供給する新しい方法が必要となりました。その解決策がLCIFであり、財団は世界中のライオンズの慈善活動を支えています。

世界各地の人道事業に資金を供給する経路として、LCIFはライオンズが結束して対応することを可能にします。その構造はクラブが単独で行える規模を超えてライオンズが他者を支援するために役立っています。

LCIFは一元化され、他の非営利団体や企業パートナーと協力する上で十分な規模を持つことから、迅速かつ効果的に動くことが出来ます。07年の『フィナンシャル・タイムズ』紙の調査で大企業がLCIFを「提携可能なNGOとしてナンバーワン」に位置付けた時にも、その理由に効率性の高さ

が挙げられました。

LCIFの最も目覚ましい成功の一つは視力ファースト・プログラムで、予防・回復可能な失明の主要原因と闘い、視覚障害者に奉仕する取り組みに資金を提供するものです。99年以降はジミー・カーター元アメリカ大統領が主宰する非営利団体、カーター・センター



愛知県・一宮東ライオンズクラブはLCIF交付金を受けて、マレーシア・コタキナバル近郊の農村に給水設備を設置した

と提携して2億7100万人余りに治療を提供し、オンコセルカ症として知られる寄生虫感染症を食い止めることで数百万人の視力を保護してきました。人道的取り組みには、毎年数百万人の命を奪うはしかと闘うための長期的な資金提供も含まれます。LCIFは2012年、「ワンショット、ワンラ

イフ...ライオンズはしかイニシアチブ」を通じてワクチン接種のために1千万ドルを獲得し、翌年には予防接種プログラムに向け、17年までに更に3千万ドルを集めることを約束しました。

LCIFの能力は年月と共に劇的に増大し、それは災害援助プログラムを見ても明らかです。その交付金が最初に提供されたのは73年、サウスダコタ州の洪水被害者を助けるための5千万ドルでした。大地震がハイチを襲った10年には、LCIFは緊急援助と長期復興活動のために600万ドルを集めるまでになっていました。そして11年、日本での地震と津波に対応して提供した援助金は2100万ドルに上ります。

LCIFには学校や託児所の建設によって子どもたちを支援するプログラムもあり、ライオンズクエスト・プログラムを通して青少年が重要なライフスキルを学ぶ手助けもしています。

LCIFは大規模な人道事業に資金を提供していますが、その資金のほとんどは各地のライオンズが地域社会を改善するために役立てられています。例えばミネソタ州では、地元のライオンズが精神・身体障害者キャンプの宿舍の改修を支援しました。ブルキナファソのライオンズは、へき地の町キオンに新しい学校を建てました。



## 会員増強計画レポート⑩

◎100周年記念実行委員会報告

◎4月第1位：336-A地区ガバナー報告

### 4月新会員数ベスト6地区



☆第1位 336-A地区  
75人(累計654)増  
橋本充好地区ガバナー



☆第2位 337-C地区  
62人(累計388)増  
松尾治吉地区ガバナー



☆第3位 333-E地区  
56人(累計580)増  
下川利澄地区ガバナー



☆第3位 331-B地区  
56人(累計244)増  
奥山壽雄地区ガバナー



☆第5位 330-A地区  
34人(累計544)増  
近藤正彦地区ガバナー



☆第6位 337-A地区  
32人(累計637)増  
藤井勝彦地区ガバナー

(国際本部集計/4月末現在)



◎国際協会創設100周年に向けて  
100周年記念実行委員会  
副委員長  
長/高田順一

2014年トロント国際大会終了時から始まった100周年記念祭は、2018年ラスベガス国際大会まで4年間継続されます。1年目のテーマは100周年記念奉仕チャレンジで、世界のクラブが4千万人に対して奉仕事業を行いました。2年目はそれを上回る勢いで進行中で、1億人の最終目標に対し5月中旬で既に8500万人の実績となっています。

2年目のテーマは新クラブ結成と会員増強で、実際には15年4月に繰り上げてスタートしました。100周年記念会員増強賞の認知度はすぐには上がりませんが、クラブが本格的に

取り組み始めた結果、2015・16年

度は3月末時点で新クラブ数は1036クラブ、100周年記念会員数は14万5721人、参加クラブは2万7269クラブ(58%)です。会則地域では東洋・東南アジア(OSEAL)とインド・南アジア・アフリカ及び中東(ISAME)が他の地域を牽引しています。OSEALの中では日本、韓国、中国が大きく貢献しており、山田實絨国際会長在任中に世界の七つの会則地域の中で最大の会則地域になることが現実味を帯びてきました。これには日本における新クラブ結成、会員増強の目標達成が大きく寄与します。

◎4月第1位：336・A地区

地区ガバナー/橋本充好  
3月号本欄でも記した通り、当地区では従来通りの方法では会員増強は難

しいと考え、公式訪問で現状把握を行うと共に、各クラブに増員目標を記入した用紙を提出して頂きました。その上で女性、家族の社会参加の必要性を説き、目標達成をお願いしました。その後も折に触れ、各クラブの状況の把握に努めました。昨年度までは入会5人以上のクラブへ例会訪問していたところ、今年度は3人以上とし、ハードルを下げることによって各クラブが力を発揮しやすくなりました。

この号が会員の皆さんのお手元に届く頃には結果が出ていると思います。1年間で目標値に届かない場合はお詫び申し上げます。ただ、全力を出し切って頂いた当地区のコーディネーター、リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソン、クラブ会長に重ねて感謝申し上げます。



## LCIF創設50周年記念目標 後期初年度⑨

### 震

度7の揺れに2度見舞われた益城町でのボランティア活動に5月19、20日の両日参加しました。

1日目は住宅地の屋外のガレキ撤去を6人で、2日目は支援物資集積場で許可証持参者へブルーシート・土嚢袋・生活関連の要望品をそろえ出荷する作業と、全国からの救援物資の受け

取り作業を9人で行いました。

新潟、大阪、名古屋そして福島の熊本移住者、大手IT企業定年者、裁判所書記官、そして主婦の皆さんも戦力でした。

1日目の作業所近辺では、家の倒壊や倒壊寸前が至る所に見られ、その多くが日本瓦葺で、西洋瓦建物は外見上は維持された状態にありました。また墓碑

の倒壊は目を覆いたくなる惨状でした。

2日目の集積場周辺は、農事道路や水路に亀裂や盛り上がりがあり、梅雨を控え、田植えが出来ると心配になりました。一刻も早い復興を祈ります。

さて、後期初年度10カ月が経過しました。別表の達成率90%以上が順調に推移した地区と云えます。335・D地区を始め2地区が達成、7地区が90%以上となっています。一方、複合地区

別では334複合地区から337複合地区の西日本が順調に推移しています。全日本も90・5%と明るさが見えてきました。

今月の実績をベースに年度末予想をしてみたところ、達成予想地区は16準地区、5複合地区と先月と変わりませんが、日本全体では100・4%と初めて達成の見通しが出ました。最後までよろしくお願ひ致します。(LCIF国際委員、エリア・コーディネーター/澁田繁晴)

### LCIF創設50周年記念目標

地区別献金目標額と献金実績・目標達成への必要額(ドル) 2016年4月30日現在

地区	初年度目標額	献金実績	達成率	1人当たり	MJF	目標達成必要額
330-A	296,162	166,198	56.1%	36.17	86	129,964
330-B	550,133	429,262	78.0%	102.97	287	120,871
330-C	109,191	91,538	83.8%	45.34	44	17,653
330複合	958,389	686,998	71.9%	63.71	417	268,488
331-A	301,245	222,216	73.8%	97.94	167	79,029
331-B	143,217	95,820	66.9%	42.66	63	47,397
331-C	61,401	73,518	119.7%	44.64	41	★目標完遂
331複合	512,244	391,554	77.4%	63.54	271	114,309
332-A	94,992	88,527	93.2%	50.59	55	6,465
332-B	98,629	69,800	70.8%	43.09	40	28,829
332-C	125,341	95,046	75.8%	71.09	70	30,295
332-D	189,278	198,651	105.0%	102.50	160	★目標完遂
332-E	62,551	59,130	94.5%	35.64	46	3,421
332-F	41,050	48,441	118.0%	44.60	35	★目標完遂
332複合	622,862	559,595	91.5%	59.59	406	52,246
333-A	155,669	131,563	84.5%	50.64	81	24,106
333-B	114,588	102,860	89.8%	89.60	82	11,728
333-C	201,343	200,526	99.6%	65.55	155	817
333-D	150,671	132,099	87.7%	78.35	104	18,572
333-E	296,510	242,970	81.9%	89.03	201	53,540
333複合	955,151	810,018	88.2%	72.19	623	108,763
334-A	1,281,309	1,212,731	94.6%	264.38	1,174	68,578
334-B	311,692	249,295	80.0%	80.24	220	62,397
334-C	268,425	261,001	97.2%	87.20	208	7,424
334-D	286,345	355,557	124.2%	93.84	288	★目標完遂
334-E	245,159	227,410	92.8%	124.40	199	17,749
334複合	2,393,389	2,305,994	96.4%	141.44	2,089	86,936
335-A	111,712	114,472	102.5%	58.08	83	★目標完遂
335-B	571,240	573,261	100.4%	111.79	464	★目標完遂
335-C	319,259	265,234	83.1%	71.13	192	54,025
335-D	129,468	183,330	141.6%	105.79	146	★目標完遂
335複合	1,135,236	1,136,297	100.4%	90.46	885	★目標完遂
336-A	275,358	292,824	106.3%	57.85	191	★目標完遂
336-B	115,970	141,148	121.7%	48.57	44	★目標完遂
336-C	251,183	186,557	74.3%	59.41	123	64,626
336-D	147,352	139,304	94.5%	46.07	73	8,048
336複合	829,098	759,833	96.2%	53.77	431	30,030
337-A	388,105	441,247	113.7%	102.00	364	★目標完遂
337-B	176,808	124,076	70.2%	57.68	88	52,732
337-C	196,355	210,252	107.1%	75.33	159	★目標完遂
337-D	126,273	87,133	69.0%	39.09	57	39,140
337-E	83,174	85,351	102.6%	55.97	62	★目標完遂
337複合	993,633	948,059	97.7%	72.80	730	22,656
全国	8,400,002	7,598,348	90.5%	81.20	5,852	801,654



# 獅子吼

## 「一億総活躍社会」の活躍年齢を考える

杉山修（京都堀川）

安倍政権はアベノミクス第2ステージとして「一億総活躍社会」の実現を

目指す方針を固め、そのための大臣職まで創設しました。これに対し、政策の具体性に欠けるとか、驚いたことにかつての戦争中に言われた「一億玉碎」をイメージさせるとか、このスローガンは虚妄だ、等の批判記事がある地方紙に載っていました。私はこの批判記事を読んで、極めて残念に思いました。「批評は謙虚に、称賛は惜しみなく、建設を旨として破壊をさけること」というライオンズ道徳綱領の最終章を一つの人生訓としている私にとっては、褒めることはあまりせず、批判ばかりを優先しているマスコミの姿勢に疑問を感じざるを得ません。かつてテレビが普及し始めた頃、ある有名な批評家が、「二億総白痴化が始まる」と社会に警告を發し話題になりましたが、果たしてその後、日本人全てが白痴化したでしょうか？むしろ逆に情報の共有化で進歩した面の方が多かったのではない

かと思います。

また政府は公職選挙法を改正し、次の選挙から18歳に達した者に選挙権を与えることにしました。これも一億総活躍社会実現のための若年層の活性化策とも考えられますが、18歳が適正であるかどうかについては、これもマスコミでいろいろ意見が報道されています。

私はこの18歳という年齢について特別な思いを持っています。

昨年秋、同期のガバナー会の旅行で日光東照宮と中禅寺湖、華嚴の滝を一周してきました。が、明治36年に18歳で「人生は不可解なり」の言葉を残してこの滝に身を投げた「藤村操」青年のことは、残念ながらガイドの説明も無く、碑も見当たりませんでした。

私は大学1年生の18歳の時、友人と3人でこの華嚴の滝を見た後、日光のいろは坂を約2時間、藤村操の人生観について熱い議論を交わしつつ徒歩でふもとまで下った記憶があります。明

治時代に18歳の一高生であった藤村青年が、ミズナラの本を削って書き残した「巖頭之感」と題した詩、「悠々たる哉天壤／遼々たる哉古今／五尺の小軀を以て此大をはからむとす……」の文章のすばらしさは私たちには大きな刺激であり、尽きない議論の根幹でもありました。

明治の18歳と昭和の18歳、そして現在の平成の18歳とは、何か違うような気がしてなりません。それはともかく一億総活躍社会の最低年齢を18歳として、それでは高齢者についてはどう考えたらいでしょうか？

一昨年、私たちの335・C地区では、次世代リーダー育成セミナーの対象メンバーを各ゾーンから1人、ゾーン・チェアパーソンに選任してもらいました。選ばれた計23人の平均年齢は57歳。最高齢が65歳、最年少は43歳でした。ライオンズの社会では、次世代を担うリーダー候補は50代、60代で、この年代はライオンズではまだまだ青年の部類に入るのだと感じました。

かつて人間国宝の祖父を持ち、京都では有名な友禅染の家業の後継者となった私の友人が、60代になって初めての先祖からの名を襲名した時、その披露の席でのあいさつで、「私たち職人の世界では50、60鼻タレ小僧、70、80働き盛り、90になって迎えが来たら、1



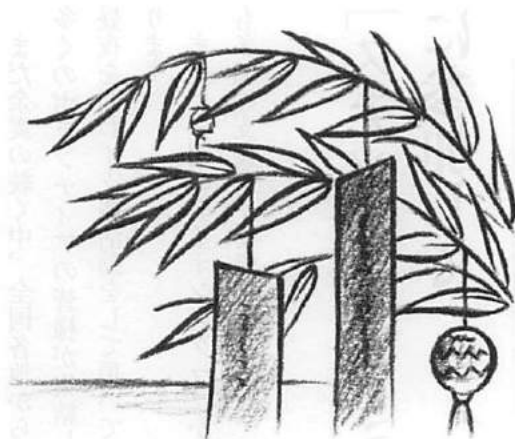
●獅子吼(ししく)

①仏が説法するのを、獅子が吼えて百獣を恐れさせる威力に例えている語。

②大いに熱弁をふるうこと。(広辞苑)

●投稿要領:

会員及び家族によるエッセー、提言など。1,600字程度



イラスト/小川和政

00まで待てと追い返せ」と言われています」と言っていたのを聞いて、感動した覚えがあります。これは京都に伝わる伝統的な職人の世界に限らず、歌舞伎等の古典芸能の世界や、高僧の多い仏教界等では、今でも通用しているのではないのでしょうか。そろそろライオンズの世界でも、この言葉が通用してもおかしくはない状況になりそうな気がします。

一億総活躍社会では、私は高齢者の活躍が不可欠であるし、そのための対策こそ本命であろうと考えています。

「70、80働き盛り」の言葉に従い、私自身も残された働き盛りの年齢いっぱいまで、一億総活躍の一員としてがんばりたいと考えています。

(元地区ガバナー/74年入会/83歳)

## 熊本地震(2回の震度7)

坂田 光輝(熊本県・荒尾)

熊本、大分地方を襲った「熊本地震」では、4月14日、16日と2回も震度7の激震が発生しました。更に震度1以上の余震が1600回以上(5月末現在)という未曾有の頻度で発生、この状況が今もまだ続いています。いったい誰がこのような震災を予測したのでしょうか。

あまりの余震の大きさと多さに「余震が怖くて家には居られない」と、車中やテントを張って寝泊まりする人も多く、各地の避難者数はピーク時には合計で20万人近くにも上りました。熊本は九州の中央部にありながら道路の分断などから救援物資がなかなか行き渡らず、水や電気などのライフラインも寸断され、陸の孤島といった状態がしばらく続いた地域も少なくありません。

地震によって生活基盤を根底から崩壊させられると、蛇口をひねれば水が出る当たり前のように思っていたものがストップしてしまい、手や顔が洗

えない、歯磨きが出来ない、食器が洗えない、洗濯が出来ない……などの不便に直面します。無くして初めて日常のありがたさに気付いたのでした。一方、「助け合い」「慰め合い」「励まし合い」という光景が各地で繰り広げられました。

壊れたもの、失われたものは数知れずありますが、近所との付き合いや家族間の絆が深まり、折れ掛かった気持ちを支えられたような気がします。

熊本地震では家屋の倒壊などにより、多くの尊い命が失われてしまいました。自宅の再建、生活や経済基盤の立て直しはまだまだこれからです。

日本三大名城の一つである熊本城の、「武者返し」という異名を持つ石垣は無残な姿となり、修復にはこれから気の遠くなるような歳月と費用が掛かることでしょう。

しかし、いつか必ずあの雄姿が戻ってくるだろうと思うだけで、気持ち明るくなるのです。



まだ余震の続く中、全国各地から多くのボランティアの皆様が集結し、昼夜を問わず支援活動をして頂いております。

また、全国のライオンズクラブからも多額の支援金や物資が届くなど、熊

本県に住むライオンの一人として心からうれしく思い、感謝申し上げます。これからは「がんばろう！熊本」を合言葉に、一刻も早く熊本が復活することを切望しています。

(76年入会/79歳)

## 「ステップアップミーティング」に参加して

三ツ國 全代（鳥取いなば）

昨年11月13日、岡山市にある336・B地区キャビネット事務局において、「ステップアップミーティング」が開催されました。これは第1〜第8号から各1人ずつ若手メンバーが集まり、クラブやゾーン、リジョンという垣根を超えて未来のライオンズについて語り合う会で、当地区では初めての試みだそうです。

尾崎博地区ガバナーは、この会の開催を「急に思いついて」と表現されていました。私「急に呼ばれて」という感覚で、何が行われるのか全く分からず、何の準備もしないまま第7号の代表として参加することになりました。

入会してまだ2年程度の私は、「キャビネット」や「リジョン」などの横文字にもあまり慣れておらず、ライオンズ・メンバーと名乗るには恥ずかしいほどですが、当日会場に着くと、地区の皆さんに「遠い所からご苦労様」とお声掛け頂き、温かく接して頂きました。

最初の尾崎ガバナーのあいさつで、「この336・B地区を元気にしようと考えている」というお話がありました。

参加者全員の自己紹介の後、各クラブでどのような社会貢献に取り組んでいるかについて、一人ひとり発表しました。岡山マラソンのボランティア、

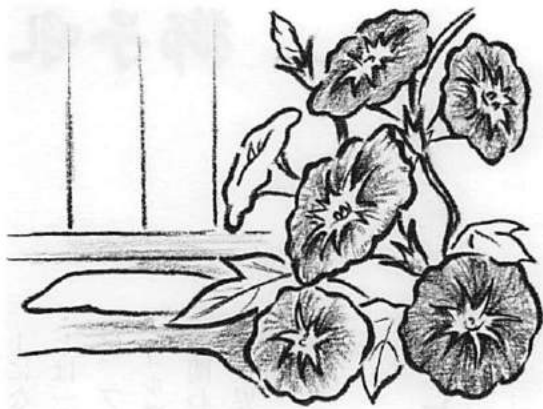
大学での献血活動、難聴者の支援活動、婚活や独居老人への支援活動など、いろいろな話が出ました。これまで私はクラブ活動の企画や準備にあまり関わっておらず関心を持つことも少なかったのですが、企画するのも面白そうだなと感じました。

ミーティングには津山鶴山ライオンズクラブ平成支部の方も参加されました。「支部には若い会員が多く、会費は安く、労力はある。そして2世でないメンバーだからこそ出来ることがある」とおっしゃっていたのが印象に残りました。

また、どこのクラブも会員増強には苦労があるようです。今後、労力奉仕をどのように強化していけるかが課題だと話し合われました。

私は最初、尾崎ガバナーの言われる「元氣」とは何だろうか？と置いていましたが、話が進むにつれ、「元氣」とは「若手メンバーの意見を取り入れ、原点を見直し、新しいことに挑戦して活気を取り戻すこと」なのだど理解しました。実際に今回のミーティングは少数で開かれたため発言の機会も得られ、他のリジョンの仲間と、困っていることをざっくばらんに話し合ったり、刺激を受けたりすることが出来ました。そうした中で、解決策を見いだせたり、やる気が出たり、興味が湧いたりして





きたのです。これが新しい力を産むのだと実感しました。

このような交流会を、今後もぜひ定期的にやっていこうという話も出ました。また機会があれば参加させて頂き

## ゴルフと私

大学を出て社会人となって2年目に営業担当となり、接待のためゴルフを始めるよう「業務命令」が出ました。それ以来、ゴルフとは60年近くお付き合いしていることになりました。

初めてコースに出た時のスコアはアウト81、イン85の合計166でした。ゴルフ場は千葉県の京葉国際カントリークラブだったと記憶しています。止まっているボールを打つのでから簡単だと考えたのが大きな間違い。それが悪戦苦闘の連続の始まりであり、いまだにそれは続いています。

たいです。地区の皆様にはお世話になり感謝しています。まだまだ微力ですが、これからも皆様と共に元気なライオンズ活動を続けていきたいと思っています。(13年入会/51歳)

門田 洋司(愛媛県・今治中央)

しかし長くゴルフを続けていると、いろいろな事件が起こるものです。平成9年1月3日、我が今治中央ライオンズクラブの新年コンペが、今治カントリークラブで開催されました。天候が非常に悪く、小雪混じりの強風の中でのラウンドでした。12番ホール150ヤードのショートホール、風はアゲンスト。飛ばない小生は4番ウッドで打ったところ、ボールはトップして転がりながらグリーン方向に向かったのですが、吹雪で見えません。しばらくして歓声が沸き起こりました。カップに入ったのです。奇跡が起きたのです。もちろん生まれ初めて初めてのホールインワンです。続いて2度目の奇跡が起きます。今

度は快晴の中、ホールインワンコンペ祝賀会を実施したところ、同じホールで2回目のホールインワンを達成したのです。最終ホールではまるでプロの選手が祝福を受けるように、大観衆に囲まれて歓迎されました。

全く驚くべき奇跡です。平均的なアマチュアが年間50ラウンドして60年に1回達成すると言われているのに、3カ月に2回も珍事が起こるとは。まさに神秘的と言えましょう。このような事件があつてから「ホールインワンの神様」と言われ、10人以上のホールインワンコンペの世話人代表に推薦され、皆様方のお世話が出来たことを感謝しております。

大概のスポーツには審判員がいますが、ゴルフにはおりません。他ならぬプレーヤー自身が審判員であるのがゴルフの特徴かと思えます。従ってスコアをごまかそうとすればいかようにも出来てしまうわけです。そこで「梨下に冠を正さず」という姿勢が大変重要になってきます。ゴルフという競技にエチケットとマナーが要求されるゆえんです。

同伴プレーヤーとは丸1日という長い時間を付き合うので、ゴルフは人間を裸にします。生きてきた環境や生き様まで露呈してしまいます。後日再び同伴したいと思われるようなプレーヤ



ーになりたいものです。二度とこの人とは一緒にやりたくないと思わせるのは、プレーヤーとして失格です。

ゴルフを始めていなかったら、おおよそ関わりを持つことは無かったであろう世界の人たちとも、気軽に付き合え

ます。ゴルフで親交を温めながら人の輪を広げ、お互いの生き様を見るときは楽しいものです。そういう時に、ゴルフを趣味にして本当に良かったと思います。

(元会長/68年入会/84歳)

## ミャンマー・プロジェクト奮闘記

三上 哲治 (東京麻布)

民主化が始まったミャンマーで、2006年まで首都だったヤンゴンは今、「バブル」に沸いています。市内中心部の土地価格が東京の世田谷区並みであったり、1戸4千万円のコンドミニアムが販売されたりしています。公務員給与が月額約2万円の国で、外国人以外に一体どんな人が買っているのか不思議です。

ミャンマーは1962年に軍事クーデターが起き、最近までは軍事政権下にありました。長い間国を閉ざし、欧米諸国の経済制裁を受けていたこともあって、人々の生活は決して楽ではありません。

最大都市ヤンゴンの人口はおおよそ5

10万人。市内を散策すると、高い塀で囲まれた広い敷地にヨーロッパ調の豪華な一軒家が立ち並ぶエリアもあれば、空き地にバナナの葉っぱと竹で作った家が立ち並ぶエリアもあり、貧富の差も激しいようです。

ミャンマーの国民は80%が仏教徒だと言われています。エンジ色の袈裟を身にまとったお坊さんは「托鉢」といって毎朝信者の家を巡り、生活に必要な食料をもらいます。ある日、お坊さんたちが敷地の中が見えないほど豪華な門構えの家を通り過ぎ、古い小さな家の前で立ち止まりました。すると、家の中から子どもをおんぶしたお婆さんと子ども数人が出てきて、お皿に入

った白いご飯をお坊さんの持った鉢に入れました。深くおじぎをして立ち去るお坊さんたちの後ろ姿に、子どもたちが手を合わせていた光景がとても印象的でした。

ヤンゴン市内を歩くと、建物の作り方がよく分かります。コンクリートの柱と柱の間にレンガを積み、その表面をモルタルでならし、ペンキを塗って壁を作る工法が多いのです。そのため壁にヒビが入りやすく、雨季には漏水したり、カビが生えて黒ずんだりしている建物が多く、しかもレンガの壁には鉄筋が入っていないので、下にいると少々不安を感じます。

工事現場を覗くと、仕事柄つい口を出したくなってきます。そしてついには「建築家として何か協力出来ないだろうか……」と、日本人の中に潜んでいる「お節介ムシ」がジワジワと動き出してくるのでした。

ヤンゴンでも電気、ガス、上下水道などのインフラ整備が遅れ、不動産バブルと相まって、住宅事情はあまり良くないようです。特に日雇いに近い低所得者層では、賃金が10%上がってもインフレ率が10%近くあるため、貯蓄がなかなか追いつかず、住宅の取得は簡単ではありません。しかもミャンマー社会には、インドのカースト制に似た身分の違いが潜在的に存在していて、





自ら生活環境の改善や家の取得をあきらめていない人も少なくないのです。

街を散策しているうちに、「この人たちにも手が届く住宅が出来ないものだろうか……」と考えるようになり、急いで日本に帰国してスタッフたちと話し合いました。結果、「ミャンマーでローコスト住宅にチャレンジしよう！」ということになり、ここから、私たちの「お節介プロジェクト」がスタートしました。

実現するためには戦略が必要です。1番目の戦略は、ミャンマーの気候条件を考え、建築材料としてコンクリートブロックを選択したこと。日本仕様のコンクリートブロックは縦横に鉄筋を入れられるため、建物の構造体として利用することも出来るし、断熱性が高いためカビが生えにくいという特徴もあります。2

番目は、日本の建築家が作る「安全で安心出来る家」を、ミャンマーにおける平均価格以下で供給することを目指すことです。

これを実現するためには、建築材料の専用工場が必要となります。さて、どうやって作るか……。進め方に関してさまざまな角度から検証した結果、現地の

流通網や建設業界の実情を知るためにも、私たちは地元のゼネコンに依頼せず、工場を自らの手で建設するという「無謀」とも言える道を選択することにしました。

日本では、私たちは建物のデザインをし、工事は経験豊富なゼネコンが担っていましたので、そうした経験のない私たちは、ミャンマーで工事することの難しさと、日本のゼネコンの優秀さをひしひしと思い知らされる日々が続きました。自分たちで土地を探し、許認可を申請し、現地のワーカーを集め、掘削、資材の調達、曲げたり、切ったり、現地に無い工具や材料は日本から輸送しました。

着工してから2年。工事の進行はカメさんのように遅いですが、先月やつと大屋根がかかり、2回目の雨季を迎えようとしています。乾季は気温42度、雨季にはバケツをひっくり返したような雨が半年近く続く環境下で、工事経験のない5人の社員の奮闘ぶりには脱帽です！

この5年間、まだ1円の売上もありませんが、一日も早くミャンマーの人たちに「安全で安心出来る家」を供給したいという「お節介ムシ」から始まったこのプロジェクトは、日の丸を背負って今も元気に進行中です！

(クラブ幹事/99年入会/58歳)

## 『ライオン誌』創刊号復刻版

B5判 68ページ 1部300円・送料実費



日本にライオンズクラブが誕生して6年目の1958年8月10日、『ライオン誌』日本語版創刊。発行部数はわずか4,500部だったが、誌面からは草創期の活気がひしひしと伝わってくる。

※50部以上ご注文の場合、送料無料(ただし、急ぎの場合は別途請求)。

●大口割引：50～299部10%引き／300～499部15%引き／500～999部20%引き (千部以上は別途割引率の設定があります)

●お申し込みは文書で、郵送、ファクス、電子メールのいずれかをお願いします。地区名・クラブ名・お名前・ご住所・お電話番号を明記の上、部数をお知らせください。また、ライオン誌ウェブマガジンからオンラインでのご注文も承っています。

※請求書・振込用紙は品物に同封します(大口注文の場合は別便で送付)

〒104-0028 東京都中央区八重洲2-6-15 JOTOビル9階 日本ライオンズ事務所・ライオン誌 FAX：03-6674-8781

Eメール：office@thelion.jp ライオンズ文庫注文フォーム：www.thelion-mag.jp/modules/inquiry/index.php?op=2







Where's Lions?  
ライオンズを探せ!

@

沖縄県那覇市

## 琉球王朝時代の軍用道路 「真珠道」

取材／鈴木秀晃

世界遺産・首里城のシンボルともなっている守礼門。琉球王国第二尚氏王朝の4代目尚清王の代（1527～1555）に建てられ、1933年には国宝に指定されたが、沖縄戦で破壊された。現在の門は58年に復元されたもので、以来今日まで沖縄を象徴する観光施設となっている。

その守礼門をくぐり、首里正殿と反対側の坂を下っていくと、石畳の坂が見えてくる。その入口に「シマシービラ」「真珠道」と書かれた石碑がある。守礼門復元の年に誕生した沖縄ライオンズクラブが、2004年に結成45周年を記念して建立したもので、シマシービラとはこの坂の名前で「島添坂」と書く。

一方の「真珠道」は「まだまみち」と読み、首里城から那覇港に通じる琉球王朝時代の軍用道路であった。

起点は守礼門の脇にあったと言われる石門で、標高が高い首里近辺から幾つもの坂を下って港へ通じていた。



沖縄弁で「坂」は「ヒラ」と呼び、島添坂の後も金城坂（現在の金城町石畳道）、識名坂などの坂を通るこ

とになる。那覇港は琉球王国の大事な拠点で、その防衛は非常に重要なミッションだった。真珠道は王朝にとって欠くことの出来ない道路で、有事の際には首里城の軍隊が、この道を駆け抜け港へ急行したのでろう。

首里城跡は2000年、他のグスクなどと共に世界遺産に登録された。真珠道はあまり注目されていなかった。そこで沖縄ライオンズクラブは「歴史的な道をきちんと顕彰することで、地域の歴史と観光立県のために寄与したい」と、石碑を建立した。観光スポットとして有名な金城町の石畳も真珠道の一部であり、途中には王家の別邸に当たる識名園や昔からの井戸など、多くの史跡もある。首里を訪れた際には、少し寄り道をして、真珠道を散策してみてもいかがだろう。

■沖縄ライオンズクラブ（又吉康夫会長／55人）  
1958年12月18日結成

大阪南ライオンズクラブのスポンサーで結成された当時は、日本復帰前で国際協会では「リュウキュウ・アイランズ」という独立した領域として扱われていた。会員構成もチャーターメンバー67人中、外国人が4割近くを占め、国際色豊かなクラブとしてスタートした。60年のコザを皮切りに、61年名護、そして62年に八重山、宮古、那覇中央、宜野湾の各クラブをエクステンションし、その後も沖縄のマザー・クラブとして10クラブを送り出した。YCE受け入れや献血などライオンズの主要アクティビティの他、糸満市平和記念公園へのユリの球根植え付けや、沖縄平和記念堂の清掃も実施している。



表紙の背景

## ● 麦秋

香川県綾川町



綾川町は香川県のほぼ中央、南に讃岐山脈がそびえ、清流綾川が町の中をゆったりと流れている。のどかな田園と里山が織り成す讃岐らしい風景が広がり、この時期は町のあちこちに点在する麦畑が黄金色に染まり、収穫の時期を迎える。

綾川町で作られているのは「さぬきの夢」と呼ばれる品種で、香川県が9年の歳月を経て完成させた期待の星だ。というのも、「うどん県」とまで自称する香川県にあって、県民食うどんに使われる小麦は、実に90%を輸入に頼っているのだ。そこで「讃岐うどん」なら讃岐産小麦を使ってしかるべき、と香川県農業試験場が満を持して送り出したのが、この「さぬきの夢」だった。

とは言っても、「うどん県」の小麦消費量は半端じゃない。少し古い2009年の統計だが、香川県のうどん用小麦粉の使用量は約6万トで、全国の使用量の実に23%を占めていた。現在、「さぬきの夢」の収穫量は5千ト程度なので、まだ県内使用量の10%にも満たない。先は長いが、香川県としては讃岐うどんにおける「さぬきの夢」の使用比率を今後更に伸ばしたいとしている。

ところで綾川町は、讃岐うどん発祥の地と言われ、毎年4月に滝宮天満宮で献麺式が行われている。そんな町だけに、05年のゴールデンウィークには最長2時間待ち、車の列が延々2キロも続いたという山越うどんを始め、人気うどん店が数多くある。今も休日になると、四国ばかりでなく関西や山陽から観光客が押し寄せ、綾川にある道の駅「うどん会館」には、年間約30万人の来園者がある。



ふるさと探訪

高知県 佐川町 取材/河村智子 写真/田中勝明

# 土佐の山間から卓越した人材を 世に送り出した文教の町

佐川は江戸時代から400年の伝統を受け継ぐ酒造の町。高知でよく見られる水切り瓦が施された司牡丹酒造の酒蔵



## 郷校・名教館と 伊藤蘭林

坂本龍馬を筆頭に、幕末の土佐藩からは個性豊かな人物が出た。高知市の西に位置し周囲を山々に囲まれた佐川では、脱藩志士で明治政府の要職を歴任した田中光顕や、日本の植物学の父・牧野富太郎など傑出した人材が育まれた。

藩政時代に佐川を治めたのは土佐藩の筆頭家老深尾氏だ。初代重良は関ヶ原の戦いの後に土佐藩主となった山内一豊に従って入国し、佐川1万石を与えられた。1772年、6代茂澄が深尾家の子弟を教育する家塾「名教館」を開き、後にそれが拡張されて郷校となり、家臣の教育に力を注ぐ。そのため多くの儒学者が出て「佐川山分学者あり」（「山分」は山がたくさんある所の意）と言われた。

この名教館で学んだ儒学者の伊藤蘭林は、自ら教授となって多くの生徒を教えた。蘭林は和漢の才に長けていただけでなく、天文、科学、文学、音楽など多方面に通じ、学問だけでなく武芸にも優れた文武両道の人だった。教え子は、田中光顕の他、港湾建造の第一人者として小樽港に日本初のコンクリート製外

洋防波堤を築いた広井勇、ブラジル移民を計画し第1回移民団を率いて海を渡った水野龍など、幅広い分野で活躍した。名教館は明治維新後、廢校の危機に見舞われたが、佐川の年、10歳頃の話としてこんな一節がある。「その頃の名教館では以前と異



深尾家の家紋、梅鉢紋が掲げられた明教館の玄関

有志によって義校・名教館として存続され、庶民にも門戸が開かれた。酒造を営む家に生まれた牧野富太郎は、蘭林の私塾とこの義校で学んでいる。富太郎の自伝には明治5、6

本で文章がうまく好んで読んだものである）、又『輿地誌略』『窮理図解』『天変地異』もあった。ここで私ははじめて日進の知識を大分得た（『牧野富太郎自叙伝』）

なり、日進月歩の学問を教えていた。そこでは訳書で、地理・天文・物理などを教えていた。その頃物理のことを窮理学といっていた。その時習った書物を挙げると、福沢諭吉先生の『世界国尽』、川本幸民先生の『気海観瀾広義』（これは物理の



薩長同盟の実現に貢献した田中光顕ら、5人の藩士が脱藩のために集まった町外れの赤土峠に、脱藩志士集合の碑が建つ

牧野はその後通った小学校を中退して独力で植物学を学び、やがては東京帝国大学から理学博士の学位を得るのだが、その基礎を培ったのが蘭林と名教館の教えだったのだろう。「自由民権運動の板垣退助が高知に立志社を作ると、佐川には支社の南山社が設立されました。その最初の会合で第一声を発したのは牧野富太郎と水野龍です。一方は植物学、一方はブラジル移民の祖として活躍した2人が自由と平等の旗を振った辺りに、文教の町と言われる佐川の神髓があるのではないのでしょうか」

そう話すのは、南山社の会合が持たれたという古刹、乗台寺の種田快盛和尚（佐川越知ライオンズクラブ）だ。明治7年、佐川小学校の誕生と共に名教館はその歴史に幕を閉じたが、





上町地区の酒蔵通りには司牡丹酒造の新旧の酒蔵と伝統的な商家の建物が並び、酒造業を営んでいた旧浜口家住宅にさかわ観光協会がある。名教館の他に、旧青山文庫の木造洋館も移築されている

# 佐川

SAKAWA

## 高知県佐川町

さかわちよう



清流仁淀川の支流、柳瀬川が流れる盆地に町が開けている。土佐藩主山内家の筆頭家老、深尾家の所領だった江戸時代から酒造の町として発展。上町地区にある司牡丹酒造では、江戸末期に建てられた長さ85mの白壁の仕込蔵が今も使われている。そんな伝統を重んじて、町は数年前に「地酒で乾杯を推進する条例」を可決した。また、深尾氏は教育に力を注いだことから、牧野富太郎ら多くの優秀な人材を輩出した。佐川城があった山は今、牧野公園として桜の名所になっている。町内では新高梨や栗、ブルーベリーなどの果樹栽培も盛ん。

面積／101平方キロメートル 人口／1万3351人  
 (2016年5月1日現在)

### 【交通アクセス】

JR土讃線高知駅から佐川駅まで特急で30分、普通列車で1時間10分

高知市内から国道33号線を松山方面へ約1時間



建物の玄関部分は小学校の敷地に保存され、現在は上町地区に移築されている。上町地区には司牡丹酒造の蔵や白壁の商家が並び、趣あるたたずまいを見せる。佐川の酒造りは、深尾氏に従ってきた御用商人の御酒屋によって始まり、清らかな仁淀川の伏流水に恵まれて発展した。その伝統を受け継ぐのが司牡丹酒造で、「司牡丹」の名は宮内大臣を務めた田中光頭による命名だ。一带には、維新の生き証人として志士の顕彰に尽くした田中光頭の収集資料を展示する青山文庫や、牧野富太郎の生家跡、深尾家の菩提寺青源寺などもあり、佐川の歴史と文化に触れることが出来る。

## 愛情たっぷり育まれた 佐川の産品

佐川には町の人たちに愛される地酒ならぬ「地乳」がある。「さかわの地乳」を製造する吉本牛乳は今年で創業100年。町内産の新鮮な生乳を使い、昔ながらの製法で牛乳を作り続けてきた。現在は町内の酪農家4軒で絞られた生乳だけを使う。いずれも家族で経営する小規模の酪農家だ。それだけに手塩にかけて乳牛を育て、共同で飼料用米を作るなどしながら、安全で質の高い生乳を生産している。

さかわの地乳は味が濃いのにサラリとさわやかな飲み心地で、とても

おいしい。4軒の酪

農家から工場に集め

られた生乳は85度で

15分間かけて殺菌さ

れ、豊かな風味その

ままの牛乳になる。

吉本牛乳の製品は佐

川町のある高岡郡内

の町村や高知市の一

部で販売され、宅配

も行われている。町

内の小学校の給食で

出されるのも、さか

わの地乳だ。子ども

の頃からその味に慣

れ親しんだ人は、他

社の牛乳を飲むと味

の違いに驚くという。

取材に同行してくれ

た佐川越知ライオン

ズラのメンバーの一

人も、初めてよその

牛乳を口にした時には満足に飲めな

かったそうだ。

吉本牛乳に続いて訪ねたのは国産

紅茶を生産する明郷園。遠く石鎚山

を望む山の中腹に紅茶用品種「はつ

もみじ」の幼樹が育っていた。

仁淀川の流域ではかつて、紅茶の

生産が盛んに行われていた。国産紅

茶は明治政府が殖産興業の一環とし

て奨励し、主に輸出用として生産さ

れた。当初は国内にある茶樹で作られていたが、もともと中国種の系統で紅茶には不向きな品種だったため、「べにほまれ」「はつもみじ」などの紅茶用品種が開発される。佐川町尾川地区では戦後到来した紅茶生産ブームに乗って、紅茶用品種が生産が盛んになった。生産組合が発足し、



佐川町には土佐三名園のうち青源寺庭園と別名ひさご園と呼ばれる乗台寺庭園(写真)の二つがある。乗台寺庭園は藩政時代、2代目領主夫人の病氣平癒祈願の成就を祝って築かれたと伝わる

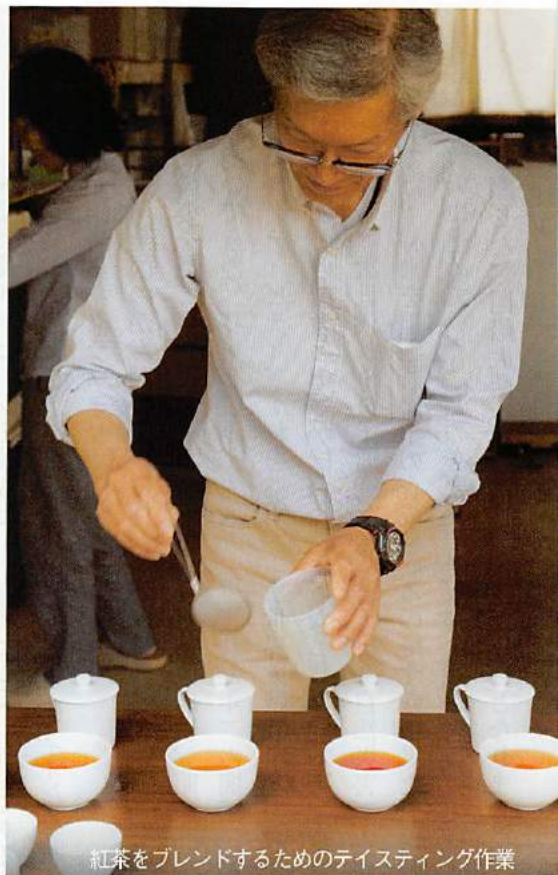


インパクトのあるパッケージ・デザインは、高知の地場産品を多数手掛けるデザイナーの手による





尾川地区に奇跡的に残っていた、はつもみじの茶園。最盛期の昭和30年代には周囲の山々の斜面にも茶園が広がっていた



紅茶をブレンドするためのテイasting作業

山の斜面を利用して茶園が開かれて、最盛期の1960年頃には15畝に及んだという。しかし71年に紅茶の輸入が自由化され、緑茶への植え替えが奨励されたことで、国産紅茶の生産に終止符が打たれた。

今から7年前、農協職員だった澤村和弘さんは、はつもみじの茶園が尾川地区にわずかに残り、かつての生産者の手で守られてきたことを知る。この地区で生まれた澤村さんの

記憶にある明郷紅茶

はつもみじは渋味がすっきりしていて、後口良くすつと消えていく。ただ香りが独特で、色はオレンジ系でちよつと薄いんです。単体でもいいですが、他の品種と合わせることで良さを引き出すことが出来ます」

澤村さんは、べにほまれなど他品種とのブレンドについても研究し、おいしい国産紅茶作りに情熱を燃やしている。

▼取材協力クラブ

佐川越知ライオンズクラブ（岡林増樹 会長／26人） ■1969年6月22日

結成／スポンサー・須崎ライオンズ

クラブ／当初は佐川ライオンズクラブとして

発足したが、隣の越知町在住の会員

も在籍していることから、結成3年

目に現在のクラブ名に変更した。町

の中心に清流仁淀川が流れる越知町

には、源平合戦に敗れた平家の安徳

天皇がこの地に逃れたという伝説が

残る。今年度は3年後に控えた結成

50周年に先駆け、記念事業として生

誕200年を迎えた伊藤蘭林の記念

碑3基を建立した。また青少年育成

事業として、空手、サッカー、柔道

の大会協賛や、小・中学生への文化

賞贈呈などを行っている。毎月第

2・第4火曜日の例会は、知る人ぞ

知る佐川町のうなぎの名店、大正2年創業の大正軒で開催。

「紅茶の命は渋さ。」

はつもみじはイン  
ドのアッサム種をベ  
ースにした品種で、  
緑茶用品種に比べて  
葉が大きく細長い。



読者から——5月号

■研究会の開催をつれしく思う

次世代リーダー研究会の記事を読みました。37複合地区での研究会でも同じようなセミナーが開催され、参加しました。数を増やすだけでなく、活動内容の見直しや、奉仕の方向性、リーダーシップ等、時代のニーズに合った変化が求められています。ことに強く同意しています。それと共に、このような研究会が各地区で開催されていることをうれしく感じました。

熊本キャッスルライオンズクラブ

●高江康明

■5月号それぞれを読み

国際会長メッセージを読むと山田会長のお考えを理解することが出来る。クラブ・レポートでは、全国のがんばっている仲間姿を見て、勇気とやる気が湧いてきた。特集を読み、先人のアクティビティ、それを継承することの苦労と尊さが伝わってくる。次世代リーダー研究会では、将来を担う若獅子の育成、大いに進めていくことの必要性を感じた。国際大会への道は、

読者プレゼント

■佐川の紅茶とジャムを読者5人に



今月号「ふるさと探訪」(49～53頁)で紹介した佐川町産紅茶「はつもみじ」(茶葉15g<sup>2</sup>)と、町内で作られた大粒のブルーベリーをたっぷり使ったジャムをセットにして5人にプレゼントします。はつもみじは町内に奇跡的に残っていた国産品種。渋味がすっきりして、後味がずっと引く爽やかな飲み口が特徴です。

プレゼントをご希望の方は、はがきに「はつもみじ」と明記し、氏名、クラブ名、住所、電話番号をご記入の上、ライオン誌プレゼント係までご応募ください。本誌へのご意見、ご感想もお書き添えください。締切は7月末日。応募多数の場合は抽選となります。

【宛先】〒104-0028 東京都中央区八重洲2-6-15 JOTOビル9階 日本ライオンズ事務所・ライオン誌  
\*オンライン応募はライオン誌ウェブマガジン (www.thelion-mag.jp) の「ライオン誌日本語版」→「プレゼント応募」から。

間近のことであり、多くのメンバーが関心を持ってのことだ。私も参加する予定である。クラブ分布図では、全国状況、他地区との比較が出来、研修会の資料としても有益である。

島根県・松江ライオンズクラブ ●大野美雄

■「ペリリュー島と叔父」を読み

日本政府は、昭和38年(私が生まれた年)の閣議決定で第二次世界大戦戦没者の数を310万人としています。人災(戦争)と天災(自然災害)の違いはあるのですが、私たちが経験した、阪神・淡路大震災では6434人が犠牲となりました。あの巨

大なエネルギーと被害の大きさは21年目を迎える今も脳裏から離れることがありません。しかしながら、第二次世界大戦での戦没者の数を分母とすると、阪神・淡路大震災で亡くなられた方の割合は0.2%にすぎないのです。そのことからしても、太平洋戦争がもたらした破壊力がいかに想像を絶するものであるかを思い知らされます。私は、何よりも現在の日本国繁栄の礎となられた戦没者の方々に敬意と哀悼の意を表します。ただ、

一方で圧倒的な物量、近代兵器徹底したロジスティックで後方から戦闘地へ物資支援し人命を優先させた米軍の在り方の違いを史実として認識する必要性を痛感します。

当時旧態依然とした兵器を用い、兵站を軽視し、引いては人命を軽視したとも言える日本軍と、獅子吼の「ペリリュー島と叔父」を読み、ライオンズがスローガンとして掲げる「自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全を図る」を改めて頭に浮かべました。そのスローガンの中で、特に「知性を重んじ」とは何か? 今一度、歴史から学ぶ必要があると考えました。

兵庫県・菅屋東ライオンズクラブ

●森川晴之



「ライオンズ考」 小口弘（大分県・別府中央ライオンズクラブ）

福沢諭吉翁の心訓に「世のなかで一番はじめなことは人間としての教養のないことである」との一条がある。ここにいう教養はあながち学校教育を言っているのではなく、世間でよく使われている良識と同じ意と考えられるが、いずれにしてもライ

なものか。「ライオンと呼ばれる人」にその人間像が三段にわたって描かれているが、なかなか我が身に照らしてその把握は難しいことである。せめて、言われることき崇高な祈りまたは願いを込めながら、歩んでいく他はないようである。

人間としてのより高次な願いであるし、ライオンズもまた同じ願いを持った人生観から、社会奉仕に高い評価をおいたものと受け取れる。

が、せめてライオンズの存在が一つの灯となるならば、自ら足るとしなければならぬ。まことにこの道を行くことは、一つの人生観から発起することであるから、難しいと言ってしまうがそれまでだが、これを行わんとし、またこれを行い得る人は幸いである。それは奪い求める生活ではなくて、与え与えてゆく生活である。知ある者は知を、愛ある者は愛を、財ある者は財を、奪う者は奪われ、与える者は与えられるのが法則であるから、真実にこの道を行くならば、いよいよ健康にして繁栄する他はないであろう。



次に社会奉仕ではその奉仕に対して報いを求めない純粹の行為でなければならぬ。いかにも人間の生涯における働きの意義を見つけようとすれば、財産とか権勢とか名声とかその働きの結果としてさまざまな形で現れてくるだろう。しかし、かくのごときものが人生における本当の喜びとは言えない。司馬光も生涯をかけて何か遺すものがあるとするならば、陰徳を積んでいく心の喜び、それを代々相続させることこそ人生の真面目ではなからうかと断じている。それは

な行動、運動であることがライオンズの本領とも言えるのではないか。しかし、このことは唯物論で埋まったような現代社会に、あるいは魂の抜けた繁栄と酷評されている現代の日本の世相に、どれほどの潤いとなり得るものなのかは分からない。だが

た平和を達成する人たちであるう。「ライオンと呼ばれる人」は実は修身の本から抜け出たような人間像ではなく、ただ一つ心平らかに、自由自在に生きていく、平凡にして非凡を成し遂げる人たちを描いたものではなからうか。

オンズにおいては、まず知徳を養い高めていくことを重視していると解して良さそうである。こうした姿勢である限りライオンズの場合は必ず自然に友愛と寛容の世界を出現するに至るであろうとの提唱だろうか。

ではライオンの理想像はどんなものか。「ライオンと呼ばれる人」にその人間像が三段にわたって描かれているが、なかなか我が身に照らしてその把握は難しいことである。せめて、言われることき崇高な祈りまたは願いを込めながら、歩んでいく他はないようである。

な行動、運動であることがライオンズの本領とも言えるのではないか。しかし、このことは唯物論で埋まったような現代社会に、あるいは魂の抜けた繁栄と酷評されている現代の日本の世相に、どれほどの潤いとなり得るものなのかは分からない。だが

た平和を達成する人たちであるう。「ライオンと呼ばれる人」は実は修身の本から抜け出たような人間像ではなく、ただ一つ心平らかに、自由自在に生きていく、平凡にして非凡を成し遂げる人たちを描いたものではなからうか。

「ライオン誌」バックナンバーから、読者の皆さんにぜひもう一度読んで頂きたい記事ピックアップ。スペースの関係上、多少の編集を加えている場合があります。



ライオン誌例会のスヌ  
— 次の例会ですぐ使える情報

ライオンズ百科

■ 役職が一目で分かるバッジ

国際協会は国際会長や国際理事、地区ガバナーなどの役員用に、それぞれ異なるデザインのバッジを作成している。ライオンズの行事に参加する時、役員は右胸にこのバッジを着けている。よもや山田實紘国際会長の顔を知らない、というメンバーはいないだろうが、例え顔を知らなくても、バッジを見れば役職が一目で分かるのだ。

山田国際会長が着けている国際

8月号予告

特集 福岡国際大会

第99回国際大会は6月24日から28日まで福岡市で開催される。日本では14年ぶりに開かれ、山田實紘国際会長が主宰してその任期を締めくくる国際大会の模様をレポートする。大会最終日の閉会式で就任する2016-17年度国際会長の国際会長テーマやプロフィールも掲載。



大会最終日の閉会式で就任する2016-17年度国際会長の国際会長テーマやプロフィールも掲載。

クイズ de 例会

〈第1問〉全世界の感染症による死亡原因の第1位で、LCIFが予防に取り組む病気は？

- a. はしか    b. ポリオ
- c. インフルエンザ

〈第2問〉LCIF緊急援助金の上限は？

- a. 1万ドル    b. 2万ドル    c. 3万ドル

〈第3問〉LCIF緊急援助金の交付を受けるのはどこ？

- a. クラブ    b. 地区
- c. 複合地区

〈第4問〉LCIF大災害援助金の上限は？

- a. 10万ドル    b. 50万ドル
- c. 100万ドル

〈第5問〉LCIFが設立されたのはいつ？

- a. 1917年
- b. 1968年
- c. 1991年

★回答は54ページ下



副地区ガバナーは正方形で、地区役員（キャビネット幹事・会計、リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソン）は円形のバッジだ。覚えておけば、国内はもちろんフォーラムや国際大会など海外のメンバーが集う場でも何かと役立つはずだ。

7月18日

7月18日は「ネルソン・マンデラ国際デー」。人種差別政策撤廃のために闘い、93年にノーベル平和賞を受賞、翌94年に南アフリカ大統領に就任し民族和解を進めたマンデラ氏。国連はその功績を記念し、09年11月、マンデラ氏の誕生日であるこの日を国際デーにすると宣言した。

この日に少なくとも67分間の社会奉仕を行うよう、世界の人々に呼び掛けている。この「67」という数字は、マンデラ氏が生涯のうち67年間を人権と社会正義を求める闘争に捧げたことに因む。人権弁護士として、信念の囚人として、国際的な平和調停者として、そして南アフリカ初の民主的に選出された大統領として、マンデラ氏は67年間にわたって人類への奉仕に尽力した。

訂正とお詫び

6月号「会員倍増計画レポート」(36頁)で執筆者の役職に誤りがありました。鈴木智男の役職は、正しくはGMT会則地域副リーダーです。訂正し関係各位にお詫び申し上げます。

国際会長のバッジは長方形で、向かって左上の角に青い斜線が2本入っている。国際副会長と国際理事は青い斜線が1本。元国際会長、元国際理事になると、斜線の位置が右下角になる。協議会議長は現・元どちらも八角形、地区ガバナーは楕円形、元地区ガバナーは縦長の長方形、





**EXECUTIVE OFFICERS**

President Dr. Jitsuhiro Yamada, Minokamo-shi, Gifu-ken, Japan; Immediate Past President Joseph Preston, Dewey, Arizona, United States; First Vice President Robert E. Corlew, Milton, Tennessee, United States; Second Vice President Naresh Aggarwal, Delhi, India. Contact the officers at Lions Clubs International, 300 W 22nd St., Oak Brook, Illinois, 60523-8842, USA.

**DIRECTORS**

**Second year directors**

Svein Øystein Berntsen, Hetlevik, Norway; Jorge Andrés Bortolozzi, Coronda, Argentina; Eric R. Carter, Auckland, New Zealand; Charlie Chan, Singapore, Singapore; Jack Epperson, Nevada, United States; Edward Farrington, New Hampshire, United States; Karla N. Harris, Wisconsin, United States; Robert S. Littlefield, Minnesota, United States; Ratnaswamy Murugan, Kerala, India; Yoshinori Nishikawa, Himeji, Hyogo, Japan; George Th. Papas, Limassol, Cyprus; Jouko Ruissalo, Helsinki, Finland; N. S. Sankar, Chennai, Tamil Nadu, India; A. D. Don Shove, Washington, United States; Kembra L. Smith, Georgia, United States; Dr. Joong-Ho Son, Daejeon, Republic of Korea; Linda L. Tinscher, Indiana, United States.

**First year directors**

Melvin K. Bray, New Jersey, United States; Pierre H. Chatel, Montpellier, France; Eun-Seouk Chung, Gyeonggi-do, Korea; Gurcharan Singh Hora, Silliguri, India; Howard Hudson, California, United States; Sanjay Khetan, Birganj, Nepal; Robert M. Libin, New York, United States; Richard Liebno, Maryland, United States; Helmut Marhauer, Hildesheim, Germany; Bill Phillip, Kansas, United States; Lewis Quinn, Alaska, United States; Yoshiyuki Sato, Oita, Japan; Gabriele Sabatosanti Scarpelli, Genova, Italy; Jerome Thompson, Alabama, United States; Ramiro Vela Villalreal, Nuevo Leon, Mexico; Roderick "Rod" Wright, New Brunswick, Canada; Katsuyuki Yasui, Hokkaido, Japan.

Lions Clubs International Headquarters  
300 W 22ND STREET OAK BROOK IL 60523-8842 USA  
TEL.(630)571-5466 FAX.(630)571-8890  
Web site: www.lionsclubs.org

ライオンズクラブ国際協会の公式出版物であるライオン誌は、国際理事会の認可を得て次の20カ国語で発行される。英語、スペイン語、日本語、フランス語、スウェーデン語、イタリア語、ドイツ語、フィンランド語、韓国語、ポルトガル語、オランダ語、デンマーク語、中国語、ノルウェー語、アイスランド語、トルコ語、ギリシャ語、ヒンディー語、インドネシア語、タイ語

**ライオン誌日本語版委員会**

国際理事	西川 義規	
国際理事	安井 克之	
国際理事	佐藤 宜之	
委員長	塚田 雅二	(333複合地区)
編集長	井村 一男	(337複合地区)
委員	久津間 康允	(330複合地区)
委員	中嶋 康一	(331複合地区)
委員	佐藤 義則	(332複合地区)
委員	石井 博之	(334複合地区)
委員	中村 房雄	(335複合地区)
委員	寺 越 慎一	(336複合地区)

日本ライオンズ事務所・ライオン誌  
〒04-0028東京都中央区八重洲2-6-15 JOTOビル9階  
TEL.(03)6674-8777 FAX.(03)6674-8781  
E-mail. edit@thelion.jp  
Website: www.thelion-mag.jp

**編集室**

**感謝**



ライオン誌  
日本語版委員長

塚田 雅二  
(千葉県・佐倉)

私たちライオン誌委員の任期も間もなく終わろうとしております。各複合地区から選ばれた委員8人の皆さんに多大なご協力を賜り、感謝申し上げます。

今期は山田實絃国際会長の示唆を受けて、アメリカ、ニュージーランド、ドイツ、インド、ウルグアイで開催された各会則地域のフォーラムを委員が取材し、それぞ

れのフォーラムの特色やO.S.E.A.Lフォーラムとの相違点などを誌面で報告させて頂きました。また昨年末をもって旧日本ライオンズ連絡事務所及びライオン誌日本語版事務所の事務所統合が実現し、本年1月から日本ライオンズ事務所として始動するという大きな変化もありました。

ここしばらく私の頭の中に常に一つの問題があるためか、3月末、『日本経済新聞』に掲載された記事が目飛び込んできました。イギリスの高級紙として知られる『インディペンデント』が、3月26日付け紙面を印刷版の最終号と

してデジタル版に完全移行するというニュース記事です。その最終号の社説には「偽善、無知、独裁」と闘ってきた」と同紙の30年間歩みを振り返り、「印刷機は止まったが、新たな章が始まる」とありました。

これも時代の波でしょうか？既に本欄で各委員が述べてきた通り、我が『ライオン誌』も2018年1月からデジタル版に移行することが決まっています。昨年10月にドイツ・アウグスブルクで開催された公式版ライオン誌の編集者会議において、山田国際会長は次のように話されたと聞いており

「公式版ライオン誌は各国のさまざまな奉仕活動を発信する大事な役割を持っている。どのようなフォーマットになろうともライオンズのすばらしい活動を世界中に広めていくことが大切。そのために良い仕事をしてほしい」

奉仕するライオンズの姿を報じ、読者会員の皆様の求めに応えられるライオン誌を発行することが当委員会の務めです。そのために、あらゆる選択肢を検討していきたいと考えています。読者の皆様も、ご意見がありましたらぜひお聞かせください。



# 日本ライオンズクラブ分布図

2016.5.31 eMMR ServannA報告による

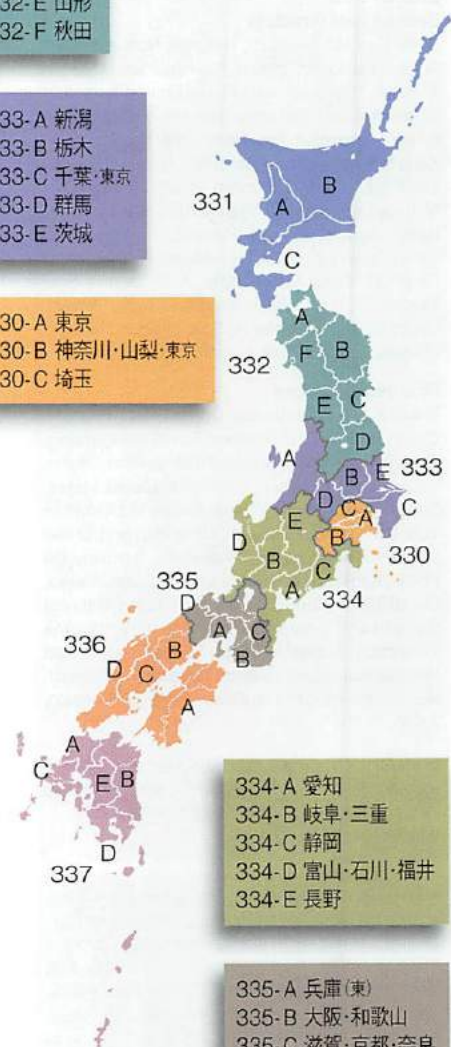
地区	クラブ数	会員数	増減	男女別会員数		家族会員数			
				男性	女性 (割合)	子会員	増減	男性	女性
330-A	203	6,615	190	4,746	1,869 (28.3)	1,923	94	616	1,307
330-B	166	4,760	-9	3,953	807 (17.0)	625	25	175	450
330-C	87	2,434	1	1,957	477 (19.6)	413	-1	124	289
<b>330計</b>	<b>456</b>	<b>13,809</b>	<b>182</b>	<b>10,656</b>	<b>3,153 (22.8)</b>	<b>2,961</b>	<b>118</b>	<b>915</b>	<b>2,046</b>
331-A	73	2,881	111	2,279	602 (20.9)	552	52	109	443
331-B	85	2,813	134	2,258	555 (19.7)	459	26	57	402
331-C	52	1,971	18	1,600	371 (18.8)	373	67	92	281
<b>331計</b>	<b>210</b>	<b>7,665</b>	<b>263</b>	<b>6,137</b>	<b>1,528 (19.9)</b>	<b>1,384</b>	<b>145</b>	<b>258</b>	<b>1,126</b>
332-A	65	2,205	124	1,709	496 (22.5)	399	68	87	312
332-B	53	2,500	85	1,633	867 (34.7)	868	73	142	726
332-C	68	1,914	94	1,355	559 (29.2)	505	22	106	399
332-D	73	2,557	145	1,964	593 (23.2)	538	64	109	429
332-E	56	2,092	69	1,635	457 (21.8)	398	34	62	336
332-F	45	1,455	56	1,057	398 (27.4)	349	36	60	289
<b>332計</b>	<b>360</b>	<b>12,723</b>	<b>573</b>	<b>9,353</b>	<b>3,370 (26.5)</b>	<b>3,057</b>	<b>297</b>	<b>566</b>	<b>2,491</b>
333-A	75	3,492	184	2,667	825 (23.6)	834	124	208	626
333-B	50	1,823	260	1,148	675 (37.0)	601	186	154	447
333-C	133	3,793	13	2,861	932 (24.6)	754	33	259	495
333-D	54	2,521	195	1,793	728 (28.9)	767	127	178	589
333-E	80	4,892	545	3,144	1,748 (35.7)	1,900	282	488	1,412
<b>333計</b>	<b>392</b>	<b>16,521</b>	<b>1,197</b>	<b>11,613</b>	<b>4,908 (29.7)</b>	<b>4,856</b>	<b>752</b>	<b>1,287</b>	<b>3,569</b>
334-A	120	7,377	331	4,770	2,607 (35.3)	2,713	254	558	2,155
334-B	79	5,347	-42	3,457	1,890 (35.3)	2,298	16	517	1,781
334-C	80	3,821	44	2,987	834 (21.8)	786	2	113	673
334-D	99	6,145	-34	3,989	2,156 (35.1)	2,394	5	421	1,973
334-E	52	2,753	178	1,936	817 (29.7)	876	129	229	647
<b>334計</b>	<b>430</b>	<b>25,443</b>	<b>477</b>	<b>17,139</b>	<b>8,304 (32.6)</b>	<b>9,067</b>	<b>406</b>	<b>1,838</b>	<b>7,229</b>
335-A	84	2,270	114	1,773	497 (21.9)	243	58	35	208
335-B	171	7,051	506	5,047	2,004 (28.4)	1,749	321	361	1,388
335-C	119	4,217	98	3,487	730 (17.3)	483	93	105	378
335-D	65	2,170	172	1,676	494 (22.8)	380	115	102	278
<b>335計</b>	<b>439</b>	<b>15,708</b>	<b>890</b>	<b>11,983</b>	<b>3,725 (23.7)</b>	<b>2,855</b>	<b>587</b>	<b>603</b>	<b>2,252</b>
336-A	149	6,459	268	4,810	1,649 (25.5)	1,341	212	244	1,097
336-B	95	3,469	351	2,733	736 (21.2)	513	301	79	434
336-C	95	3,577	399	3,016	561 (15.7)	411	373	72	339
336-D	95	3,519	295	2,899	620 (17.6)	443	243	43	400
<b>336計</b>	<b>434</b>	<b>17,024</b>	<b>1,313</b>	<b>13,458</b>	<b>3,566 (20.9)</b>	<b>2,708</b>	<b>1,129</b>	<b>438</b>	<b>2,270</b>
337-A	116	5,972	264	4,133	1,839 (30.8)	1,643	261	355	1,288
337-B	70	3,082	93	2,201	881 (28.6)	892	54	180	712
337-C	82	4,499	157	2,906	1,593 (35.4)	1,680	129	491	1,189
337-D	78	2,444	23	2,077	367 (15.0)	221	29	38	183
337-E	58	1,804	141	1,473	331 (18.3)	227	89	65	162
<b>337計</b>	<b>404</b>	<b>17,801</b>	<b>678</b>	<b>12,790</b>	<b>5,011 (28.2)</b>	<b>4,663</b>	<b>562</b>	<b>1,129</b>	<b>3,534</b>
<b>総計</b>	<b>3,125</b>	<b>126,694</b>	<b>5,573</b>	<b>93,129</b>	<b>33,565 (26.5)</b>	<b>31,551</b>	<b>3,996</b>	<b>7,034</b>	<b>24,517</b>

331-A 北海道(道央)  
331-B 北海道(道北・道東)  
331-C 北海道(道南)

332-A 青森  
332-B 岩手  
332-C 宮城  
332-D 福島  
332-E 山形  
332-F 秋田

333-A 新潟  
333-B 栃木  
333-C 千葉・東京  
333-D 群馬  
333-E 茨城

330-A 東京  
330-B 神奈川・山梨・東京  
330-C 埼玉



334-A 愛知  
334-B 岐阜・三重  
334-C 静岡  
334-D 富山・石川・福井  
334-E 長野

335-A 兵庫(東)  
335-B 大阪・和歌山  
335-C 滋賀・京都・奈良  
335-D 兵庫(西)

336-A 徳島・高知・香川・愛媛  
336-B 鳥取・岡山  
336-C 広島  
336-D 島根・山口

337-A 福岡・長崎  
337-B 大分・宮崎  
337-C 佐賀・長崎  
337-D 鹿児島・沖縄  
337-E 熊本

**世界のライオンズ**  
2016.5.31 国際協会集計

国または領域………212      クラブ数 ……46,912  
会員数 ……1,410,605      会員数増減 ……32,662



WHERE THERE'S A NEED  
THERE'S A LION



## 奉仕の歴史を奉仕で祝う 100周年記念奉仕チャレンジ

国際協会創設100周年祭を、ライオンズの神髄である奉仕によって祝おうと、2014年度から「100周年記念奉仕チャレンジ」がスタートしました。「青少年の奉仕を促そう」「視力を分かち合おう」「食料支援をしよう」「環境を保護しよう」の四つの奉仕分野で各クラブが事業を行い、それぞれ2500万人、計1億人に奉仕しようという挑戦です。実施期間は14年7月から18年6月まで、4年度にわたって続けられることになります。



### YOUTH

2500万人に貢献

青少年の参加を促そう - 地域の青少年を助ける奉仕事業を行ったり、あるいはレオや地域の青少年と一緒に奉仕を行ってもらい、次世代のボランティアを育てることも出来ます。



### VISION

2500万人に貢献

視力を分かち合おう - 目の不自由な子どもや隣人の役に立つ事業を計画して、視力の贈り物をしましょう。



### HUNGER

2500万人に貢献

食料支援をしよう - フードドライブ（食品回収）や炊き出し支援活動などを通じて、家庭や地域の健康を支えます。



### ENVIRONMENT

2500万人に貢献

環境を保護しよう - 環境を保護・美化する事業を企画し、皆にとって住みよい町づくりを目指しましょう。

ライオンズクラブ国際協会創設100周年のテーマは、「ニーズのあるところに、ライオンズがいる」。地域のニーズに応えるアクティビティで、100周年祭を祝う記念奉仕チャレンジに参加しましょう。





# 復興屋台村 気仙沼横丁

## 【屋台】

●あたま屋（ラーメン）●まぐる亭（まぐる料理）●鮮味定食（季節の創作料理）●男子厨房 海の家（郷土料理居酒屋）●炭火焼・鳥徳（焼鳥）●はまらん家（はまらん焼き居酒屋）●ひのき（居酒屋）●Stray Sheep（ショットバー）●たすく（本手打ちうどん居酒屋）●七輪屋（立呑み炭火焼）●デジコン ジュ豚姫（韓国料理）●大漁丸（まぐる料理）●cafe&dining BUGGY（カフェ・ダイニング）●ごはん処 まるげん（食堂）

## 【物販】

●浜市（鮮魚店）●及庄海草店（海産物店）●魚福（鮮魚店）●宮川商店（八百屋）●リアスの国から（海産物店）●気仙沼横丁弁当事業部（宅配弁当）

復興屋台村 気仙沼横丁

宮城県気仙沼市南町4丁目2-19

<http://www.fukko-yatai.com/>

<https://www.facebook.com/fukkoyatai>

気仙沼横丁はLCIFの東日本大震災指定交付金を受けました



Lions Clubs International  
FOUNDATION